

令和 3 年度
茅野市子どもの生活状況調査概要報告書



令和 4 年 1 月
茅野市教育委員会事務局こども課

目次

I	調査の概要	
1	調査の背景・目的	1
2	調査の対象及び回収状況	1
3	調査の方法	1
4	調査期間	1
5	調査の項目	1
6	集計結果利用上の注意	2
7	調査項目の分類	3
8	クロス集計項目	3
9	全国的な状況との比較	5
II	結果の概要	
1	概要報告書のポイント	
	(1) 全体	6
	(2) 保護者【項目抜粋】	6
	(3) 児童・生徒【項目抜粋】	7
	(4) あれば利用したいと思う場所【自由記載】	7
	【資料】	
1	保護者	
	(1) 最終学歴、就労状況	9
	(2) 食事が買えなかった経験、衣服が買えなかった経験、公共料金等が支払えなかった経験 (公共料金等が支払えなかった経験のみ複数回答)	11
	(3) 暮らしの状況	13
	(4) 頼れる人	14
	(5) 想定する子どもの進学先	16
	(6) 心理的な状況	17
	(7) 支援の利用状況	18
2	児童・生徒	
	(1) クラス内での学習成績	22
	(2) 学校の授業の理解度	23
	(3) 学校以外での勉強時間	24
	(4) 希望する進路先	26
	(5) 食事の頻度	27
	(6) 就寝時間の規則性	29
	(7) 子どもの心理的な状況	30
	(8) 相談できると思う相手（複数回答）	31
	(9) 逆境体験	33
	(10) 子どもが支援を利用した効果（複数回答）	34
	(11) 利用したことがある場所・あれば利用したいと思う場所（自由記載）	35

I 調査の概要

1 調査の背景・目的

(1) 背景

子どもの貧困対策の推進に関する法律を踏まえた調査。

(2) 目的

- ・茅野市の子どもとその保護者の生活状況を把握する。
- ・茅野市子どもの貧困対策推進計画の基礎資料とする。

2 調査対象及び回収状況

対象：市内の小学5年生と中学2年生の保護者及び児童・生徒

※国の調査は、中学2年生の保護者及び生徒を対象としている。

	児童・生徒			保護者		
	配付数	回収数	回収率	配付数	回収数	回収率
中2世帯	463	417	90.1%	463	395	85.3%
小5世帯	474	463	97.7%	474	451	95.1%
合計	937	880	93.9%	937	846	90.3%
参考(国) 中2世帯	5,000	2,715	54.3%	5,000	2,715	54.3%

3 調査の方法

- ・各学校に調査票（保護者用及び児童・生徒用）を配付。
- ・学校から保護者に調査票を配付し、保護者は家庭で回答をして学校へ提出。
- ・学校から児童・生徒に調査票を配布し、児童・生徒は学校で回答をして学校へ提出。

4 調査期間

令和3年7月9日～令和3年7月16日

5 調査の項目

内閣府が令和2年3月「令和元年度子供の貧困実態調査に関する研究報告書」において示したアンケート共通調査項目案を基本とし設問を設定している。ただし、茅野市の実態に合わせ、内容の修正、追加、削除を行った。

6 集計結果利用上の注意

- ・本調査は、個人情報保護のため無記名で行った。
- ・回答間に矛盾が認められる場合があるが、回答内容を尊重し、倫理的な矛盾を正すための修正は行っていない。
- ・単一回答の設問であって、複数の回答をしている場合は、按分し小数点以下第2位を四捨五入した値を合計している。ただし、世帯年間収入の平均及び所得分類の算出にあたっては、回答から算出した世帯年間収入を合計し、回答数で除した値を合計している。
- ・図表中に示す『n』は、比率算出上の基礎となる総数（標本数）を示している。
- ・回答の比率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、単一回答の設問の各選択肢の回答に関する数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・回答の比率（％）は、その質問の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると、100.0%を超える場合がある。
- ・等価世帯所得の算出にあたっては、世帯年間収入に関する設問の中央値をその世帯の収入の値とする。

例として、「50万円未満」を25万円、「50～100万円未満」を75万円、「100～150万円未満」を125万円、「800～900万円未満」を850万円、「900～1000万円未満」を950万円とし、「1000万円以上」は1,050万円とする。

- ・この概要報告書はあくまで調査データに基づいて、茅野市の子どもとその保護者の生活状況を客観的に解明することが目的とされる。ここでの知見が、相対的に所得が低い家庭やひとり親世帯への偏見、差別を助長することにならないよう、十分に留意いただきたい。
- 子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づき、子どもの現在及び将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会を実現することを旨として、子ども等の生活及び取り巻く環境の状況に応じて包括的かつ早期に講ずることに活用をしていただきたい。

7 調査項目の分類

調査項目の分類は以下のとおりである。

分類		調査項目
関成子 連功供 す・の る不将 事利来 項にの	認知能力（学力）	・学習成績、授業の理解度 ・授業以外の学習環境 ・学習意欲：進路希望 ・学習習慣 ・部活動等の状況 ・生活習慣：食事、睡眠 ・保護者の関わり方：子供への働きかけ、学校行事への参加
	非認知スキル	・非認知スキル：子供のメンタルヘルス ・部活動等の実施状況 ・幼児期の教育 ・親のメンタルヘルス ・相談相手（信頼できる大人、友人）
	家庭内外の困難 （逆境体験）	・逆境体験 ・非認知スキル：子供のメンタルヘルス ・相談相手（信頼できる大人、友人）
支援の利用		・支援の利用状況、利用意向、利用の効果、利用しない理由
家庭の経済・生活状況		・世帯収入 ・暮らし向き（主観） ・滞納・貧乏経験 ・生活満足度 ・親の就業状況 ・保護者の頼れる相手 ・子供の進学見込み ・ひとり親の養育費受取状況
基本属性		・子供の性別 ・家族の構成、人数 ・家庭で使用している言語 ・親の婚姻状況 ・親の学歴

※内閣府が令和2年3月「令和元年度子供の貧困実態調査に関する研究報告書」において示した共通調査項目の全体構造

※本報告書には、調査項目の一部を抜粋して集計をしている。

8 クロス集計項目

この概要報告書では、子どもの生活状況や家庭の経済状況について分析することを目的として、等価世帯所得別、世帯の状況別にクロス集計を行った。

（1）等価世帯所得別

等価世帯所得については、以下の方法により区分している。

- ① 家族の人数に関する設問と世帯年間収入に関する設問に対する回答に基づき、家族人数による差を調整するため、当該世帯の収入を同居している家族人数の平方根で除した額を算出した（世帯年間収入÷ $\sqrt{\text{家族人数}}$ ）。
- ② ①で算出した額（等価世帯収入）を高い順に並べ、その中央値を算出した（中央値 274.2 万円）。
- ③ ②で算出した中央値（274.2 万円）の二分の一の金額（137.1 万円）未満の世帯を「中央値 2 分の 1 未満世帯」、それ以上の世帯を「中央値 2 分の 1 以上世帯」と区分している。

等価世帯所得

	等価世帯所得の中央値	等価世帯所得の中央値の 2 分の 1
茅野市	274.2 万円	137.1 万円
参考（国）	317.54 万円	158.77 万円

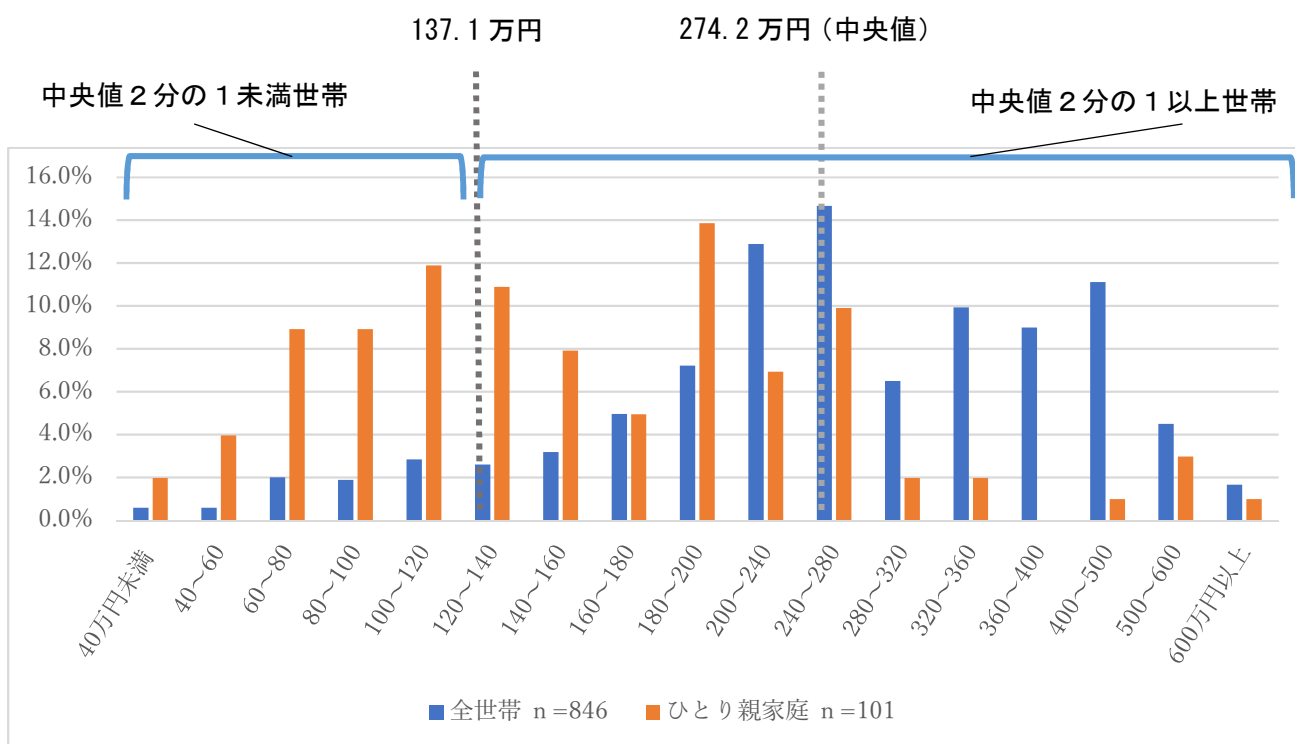
等価世帯所得別の割合

	上段：世帯数 下段：%	中央値 2 分の 1 未満世帯 (137.1万円未満)	中央値 2 分の 1 以上世帯 (137.1万円以上)	不明・無回答
茅野市	保護者 (n=846)	85 10.0%	728 86.1%	33 3.9%
	児童・生徒 (n=880)	82 9.3%	724 82.3%	74 8.4%
	保護者（不明・未回答除く） (n=813)	85 10.5%	728 89.5%	
参考国	保護者（不明・未回答除く） (n=2,623)	338 12.9%	2,285 87.1%	

※保護者または児童・生徒のどちらか一方だけが回答している場合があるため、保護者世帯数と児童・生徒世帯数は異なる。なお、保護者が回答していない場合であって児童・生徒が回答をしている場合は、等価世帯所得を「不明・無回答」として集計している。

なお、国との比較のため不明・無回答を除く割合も算出した。ただし、等価世帯所得が国の値と茅野市の値とでは異なるため、比較は参考とする。

図 1 等価世帯所得別による割合



※等価世帯所得が不明な世帯は、図中に示していない。

(2) 世帯の状況別

- ① 親の婚姻状況に設問において、「離婚」「死別」「未婚」と回答した世帯を「ひとり親世帯」と区分
- ② 親の婚姻状況に設問において、「結婚している」と回答した世帯を「ふたり親世帯」と区分

世帯の状況別の割合

	上段：世帯数 下段：%	ひとり親世帯	ふたり親世帯	不明・無回答
茅野市	保護者 (n=846)	101 11.9%	739 87.4%	6 0.7%
	児童・生徒 (n=880)	97 11.0%	736 83.6%	47 5.3%
参考国	保護者 (n=2,715)	340 12.5%	2,358 86.9%	17 0.6%

※保護者または児童・生徒のどちらか一方だけが回答している場合があるため、保護者世帯数と児童・生徒世帯数は異なる。なお、保護者が回答していない場合であって児童・生徒が回答をしている場合は、等価世帯所得を「不明・無回答」として集計している。

9 全国的な状況との比較

令和3年12月に内閣府が公表した「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」のデータを用いて比較を行った。

①調査地域、調査対象者、標本数、サンプリング方法

調査対象は、住民基本台帳から層化二段無作為抽出法により、地域別及び人口階級規模別（大都市（東京都区部と政令指定都市）、中都市（人口10万人以上の市（大都市を除く。））、小都市（人口10万人未満の市）、町村の4段階）の行政単位の層化を行った上で抽出された。調査地点数は200地点、1地点の標本数は25組（計5,000組）として実施された。

②調査期間、有効回収数・回収率

調査期間は令和3年2月12日～3月8日として実施され、有効回収数は2,715件、回収率は54.3%であった。

③その他

国が公表した数値を茅野市の集計方法に合わせ再計算したため、国が公表した数値と一致しない場合がある。

Ⅱ 結果の概要

1 概要報告書のポイント

(1) 全体

この概要報告書では、等価世帯所得別、世帯の状況別で比較分析を行った。結果、世帯収入の水準や親の婚姻状況によって子どもの学習・生活・心理など様々な面に影響を受けていた。

(2) 保護者【項目抜粋】

調査項目	調査項目の分類	中央値2分の1未満 世帯の傾向	ひとり親世帯の傾向
「食材が買えなかった経験」「衣服が買えなかった経験」「公共料金等が支払えなかった経験」	家庭の経済・生活状況	比較し割合が高い	比較し割合が高い
「子育てに関する相談」「重要な事柄の相談」「いざという時のお金の援助」について頼れる人がいないと回答	家庭の経済・生活状況	比較し割合が高い	比較し割合が高い
「想定する子どもの進学先」について、大学またはそれ以上と回答	家庭の経済・生活状況	比較し割合が低い	比較し割合が低い
心理的な状況として、うつ・不安障害が疑われる状況にある者	非認知スキル ※子どもの将来に関連する事項	比較し割合が高い	比較し割合が高い
「就学援助」「生活保護」「生活困窮者の自立支援相談窓口」「児童扶養手当」「育ちあいの」の利用	支援の利用	比較し割合が高い	「就学援助」「生活保護」「生活困窮者の自立支援相談窓口」「児童扶養手当」は比較し割合が高い。 「育ちあいの」は比較し割合が低い

※割合の比較について有意差検定は行っていない。単純に数値を比較し「高い」「低い」の標記をしている。

(3)児童・生徒【項目抜粋】

調査項目	調査項目の分類	中央値2分の1未満 世帯の傾向	ひとり親世帯の傾向
「クラス内での学習成績」について、下のほうと回答	認知能力(学力) ※子どもの将来に関連する事項	比較し割合が高い	比較し割合が高い
「学校の授業の理解度」について、いつもわかる・だいたいわかると回答	認知能力(学力) ※子どもの将来に関連する事項	比較し割合が低い	比較し割合が低い
「学校以外での勉強時間」について、まったくしないと回答	認知能力(学力) ※子どもの将来に関連する事項	比較し割合が高い	「学校がある日」は比較し割合が高い、「学校がない日」は比較し割合が低い
「希望する進学先」について、大学またはそれ以上と回答	認知能力(学力) ※子どもの将来に関連する事項	比較し割合が低い	比較し割合が低い
「朝食」「夕食」「夏休み冬休みなどの期間の昼食」について、毎日食べると回答	認知能力(学力) ※子どもの将来に関連する事項	比較し割合が低い	比較し割合が低い
「情緒の問題」「仲間関係の問題」「向社会性」のスコアについて	・非認知スキル ・家庭内外の困難 ※子どもの将来に関連する事項	「仲間関係の問題」は比較し割合が高い、「向社会性」は比較し割合が低い	「情緒の問題」「仲間関係の問題」は比較し割合が高い、「向社会性」は比較し割合が低い
「相談できると思う相手」について、だれにも相談できない、したくないと回答	・非認知スキル ・家庭内外の困難 ※子どもの将来に関連する事項	比較し割合が高い	比較し割合が高い
「逆境体験」の経験	家庭内外の困難 ※子どもの将来に関連する事項	比較し割合が高い	比較し割合が高い
支援を利用した効果 ※支援の内容は、図外に示す	支援の利用	気軽に話せる大人が増えた、生活の中で楽しみな事が増えたと回答している割合が高い	気軽に話せる大人が増えた、生活の中で楽しみな事が増えたと回答している割合が高い

※割合の比較について有意差検定は行っていない。単純に数値を比較し「高い」「低い」の標記をしている。

【支援内容】

「(自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所」「(自分や友人の家以外で)タゴはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)」「勉強を無料でみってくれる場所」「(家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)」
「(家や学校以外で)平日の日中(学校の時間)を過ごすことができる場所」「CHUKO らんどチノチノ」「学童クラブ」「地区こども館」「(自分や友人の家以外で) CHUKO らんどチノチノ・学童クラブ・地区こども館を除く学校の下校後の時間を過ごすことができる場所」

(4) あれば利用したいと思う場所【自由記載】

①小5

勉強ができる・教えてくれる場所、子ども食堂、居場所等についての回答があった。

②中2

勉強ができる・教えてくれる場所、ご飯を無料か安く食べることができる場所（子ども食堂）、相談できる場所、居場所について回答があった。

【資料】

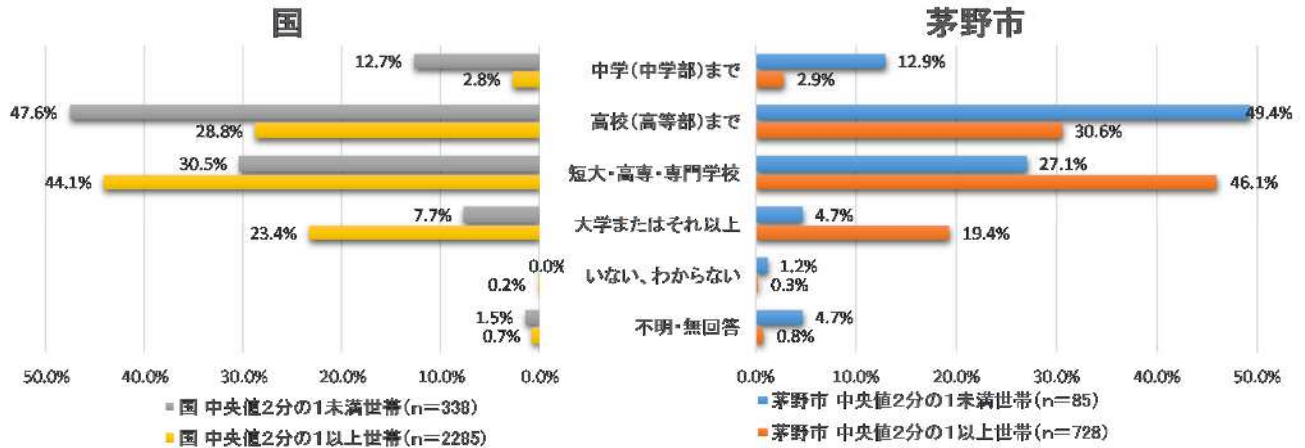
1 保護者

(1) 親の最終学歴と就労状況

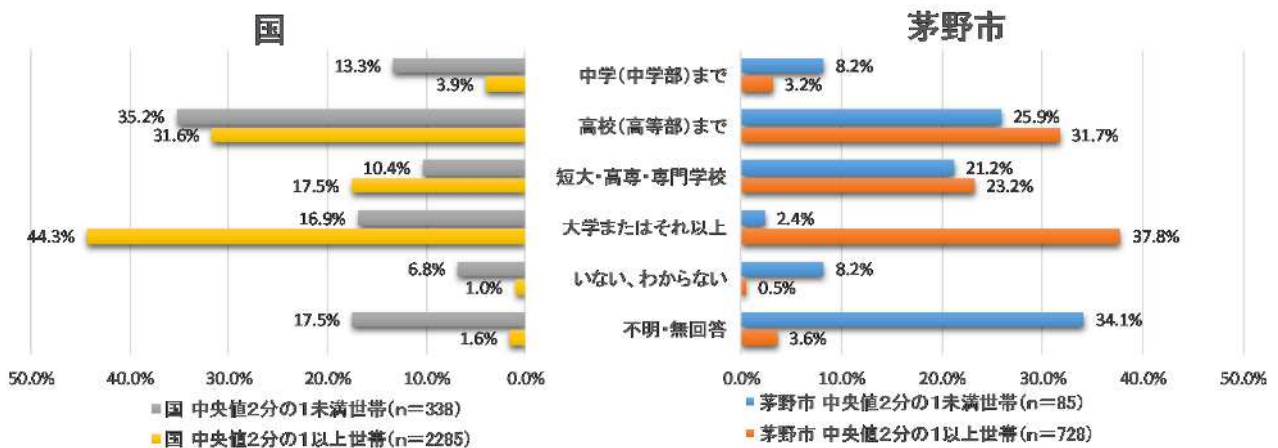
等価世帯所得別：母親・父親の学歴の違いや就労状況の違いが収入の水準と関連している。

①最終学歴(単一回答)【等価世帯所得別】

a 母親

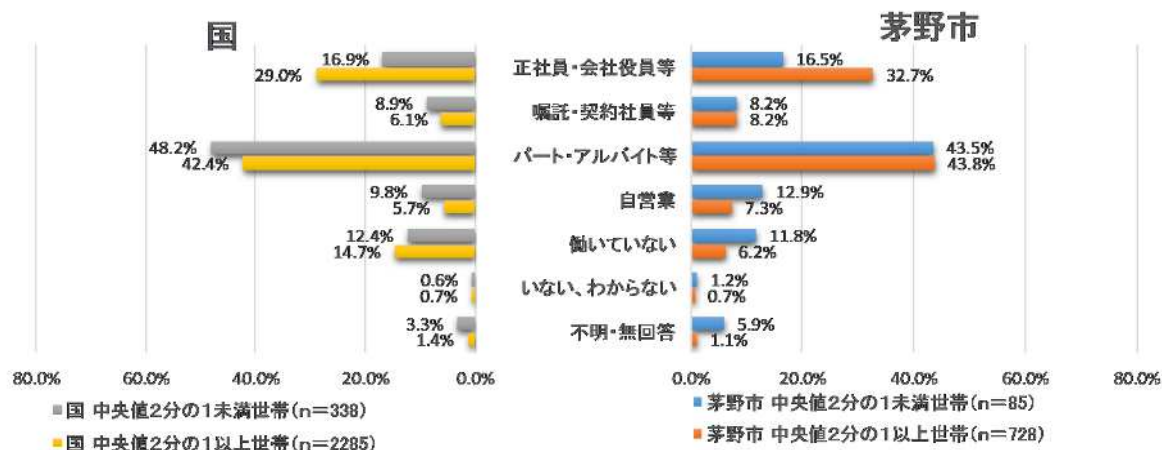


b 父親

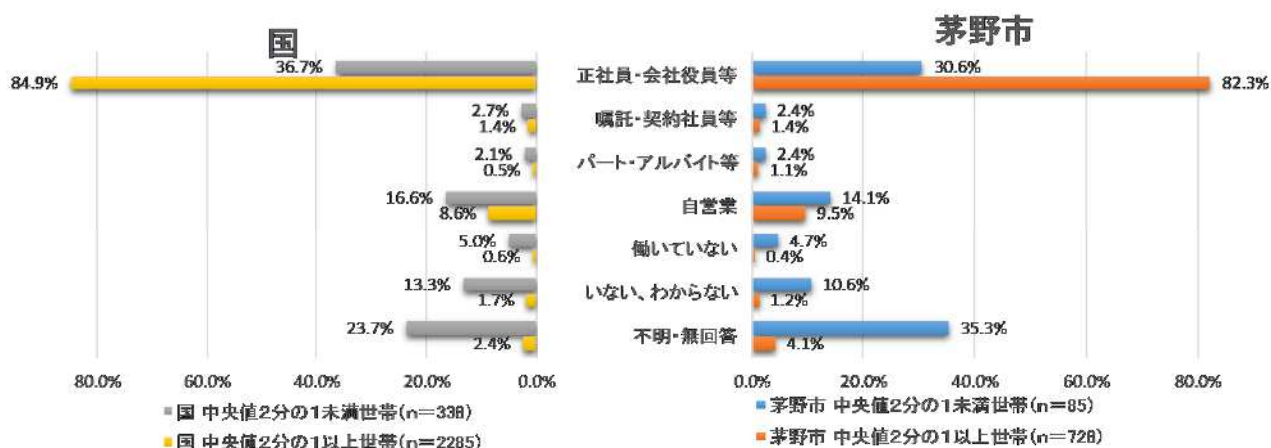


②就労状況(単一回答)【等価世帯所得別】

a 母親



b 父親

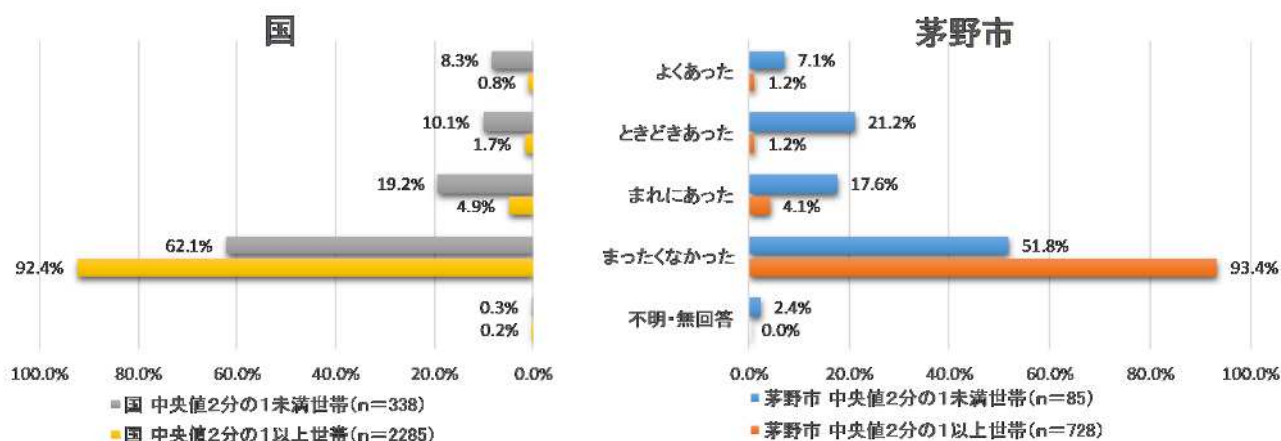


(2)「食材が買えなかった経験」「衣服が買えなかった経験」「公共料金等が支払えなかった経験」

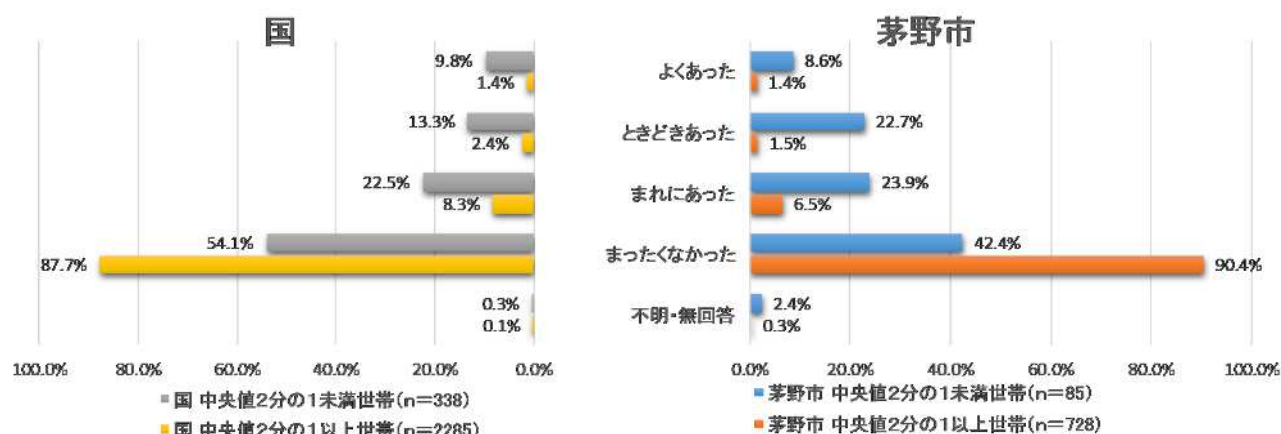
等価世帯所得別：「中央値2分の1未満世帯」では、「食材が買えなかった経験」「衣服が買えなかった経験」「公共料金等が支払えなかった経験」が生じている割合が高い。

世帯の状況別：「ひとり親世帯」では、「食材が買えなかった経験」「衣服が買えなかった経験」「公共料金等が支払えなかった経験」が生じている割合が高い。

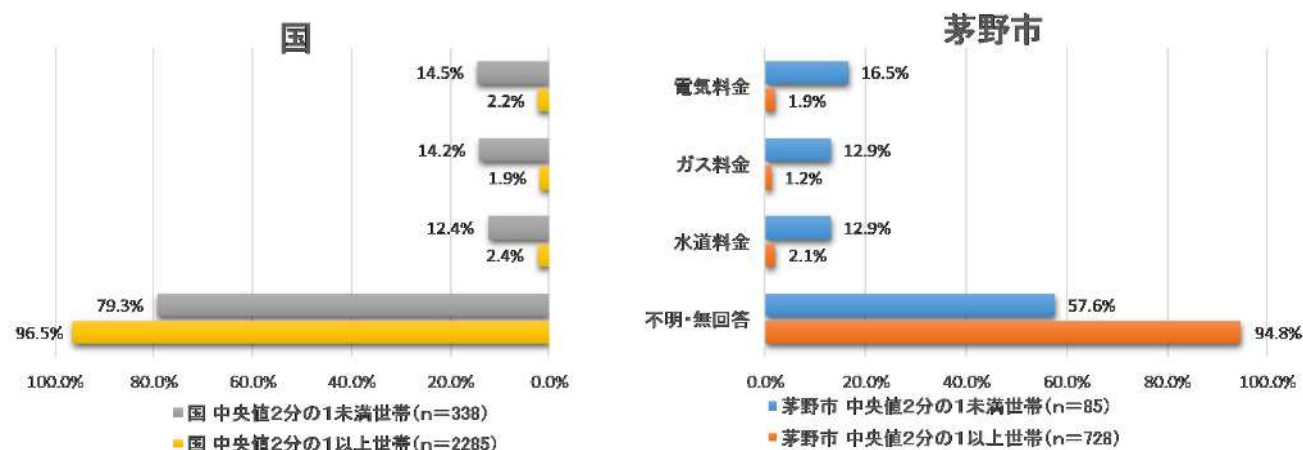
①食材が買えなかった経験(単一回答)【等価世帯所得別】



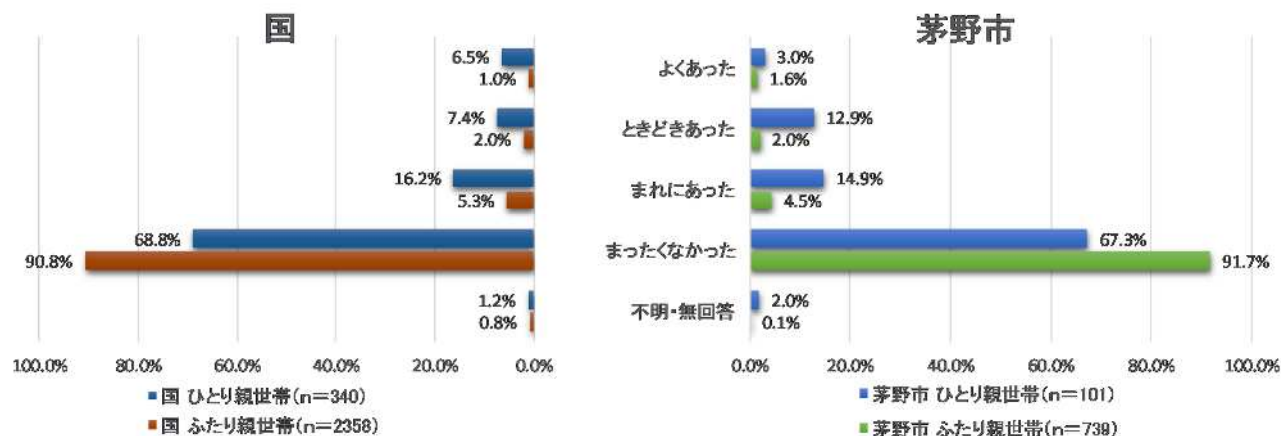
②衣服が買えなかった経験(単一回答)【等価世帯所得別】



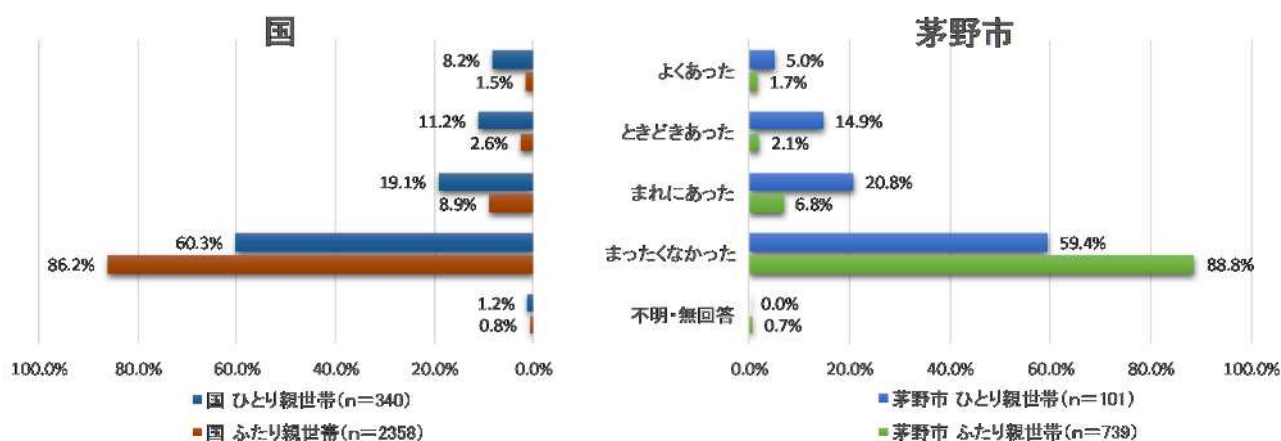
③公共料金等が支払えなかった経験(複数回答)【等価世帯所得別】



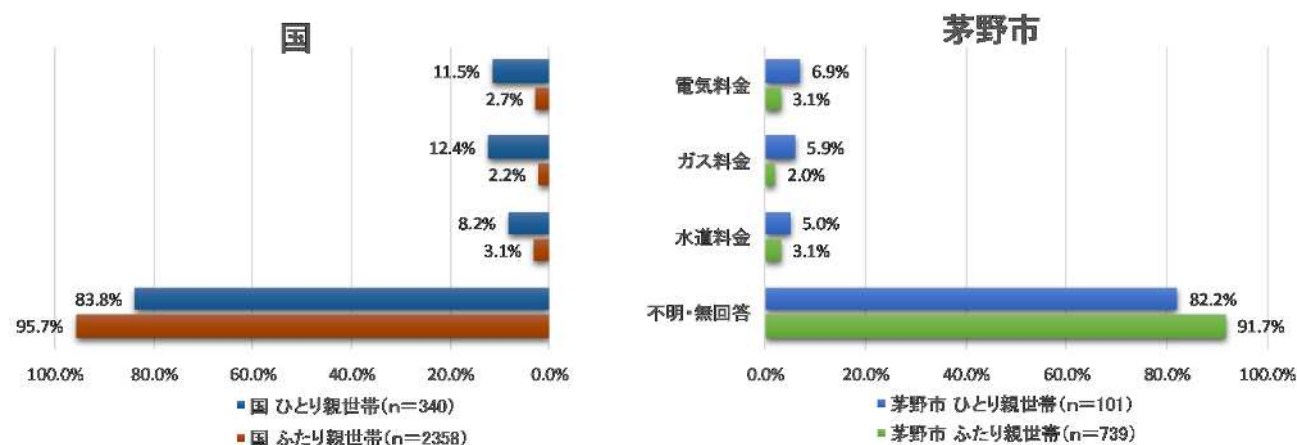
④食材が買えなかった経験(単一回答)【世帯の状況別】



⑤衣服が買えなかった経験(単一回答)【世帯の状況別】



⑥公共料金等が支払えなかった経験(複数回答)【世帯の状況別】

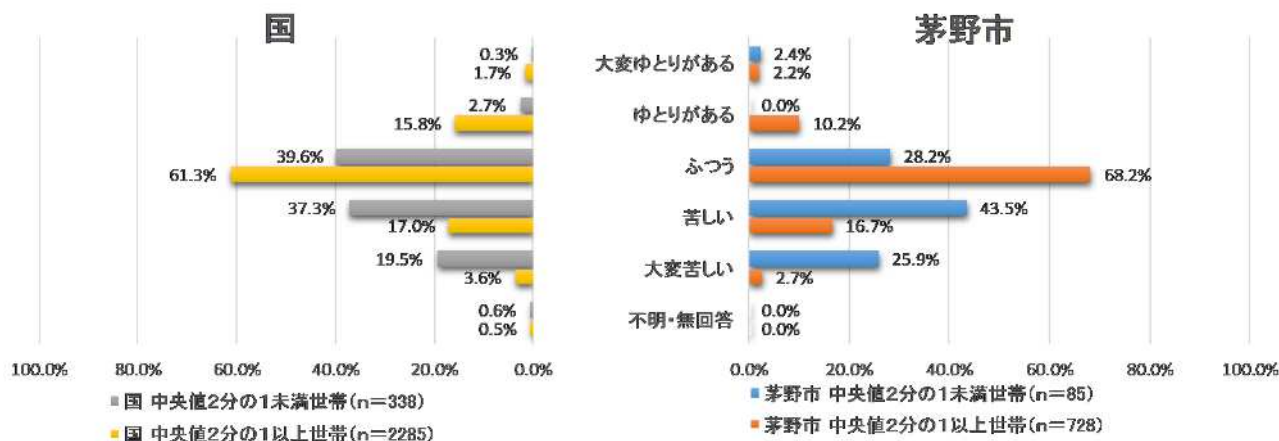


(3) 暮らしの状況

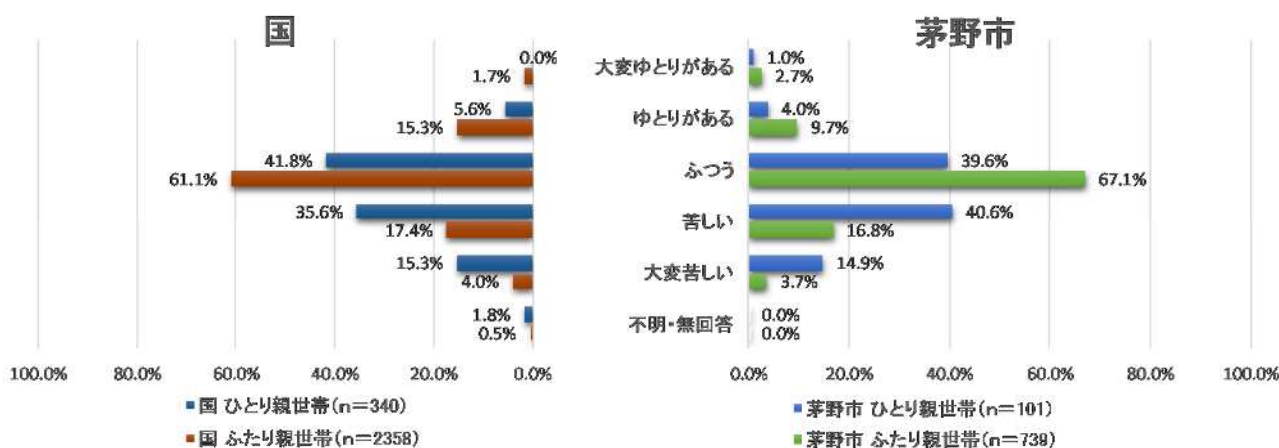
等価世帯所得別：「苦しい」または「大変苦しい」と回答した割合は、「中央値2分の1未満世帯」では、「中央値2分の1以上世帯」の2倍以上に及んだ。

世帯の状況別：「苦しい」または「大変苦しい」と回答した割合は、「ひとり親世帯」では、「ふたり親世帯」の2倍以上に及んだ。

①暮らしの状況(単一回答)等価世帯所得別】



②暮らしの状況(単一回答)【世帯の状況別】

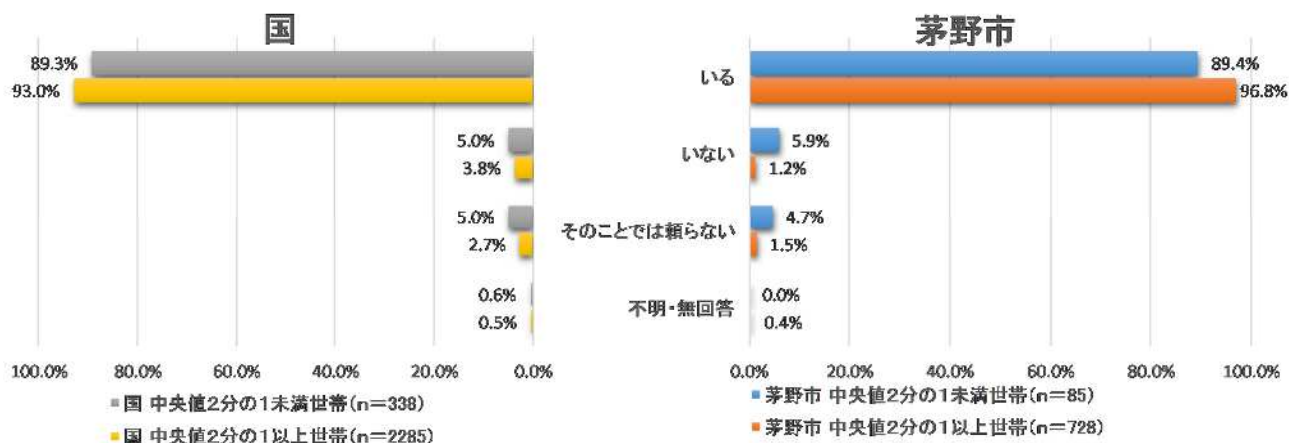


(4) 頼れる人

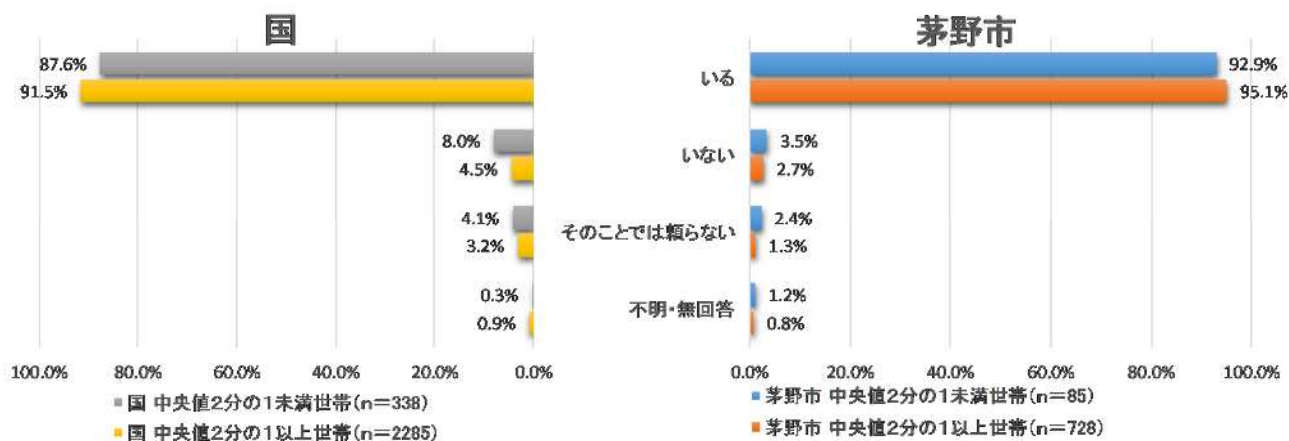
等価世帯所得別：「頼れる人がいない」と回答した割合は、「中央値2分の1未満世帯」では、「中央値2分の1以上世帯」と比べ高い。

世帯の状況別：「頼れる人がいない」と回答した割合は、「ひとり親世帯」では、「ふたり親世帯」と比べ高い。

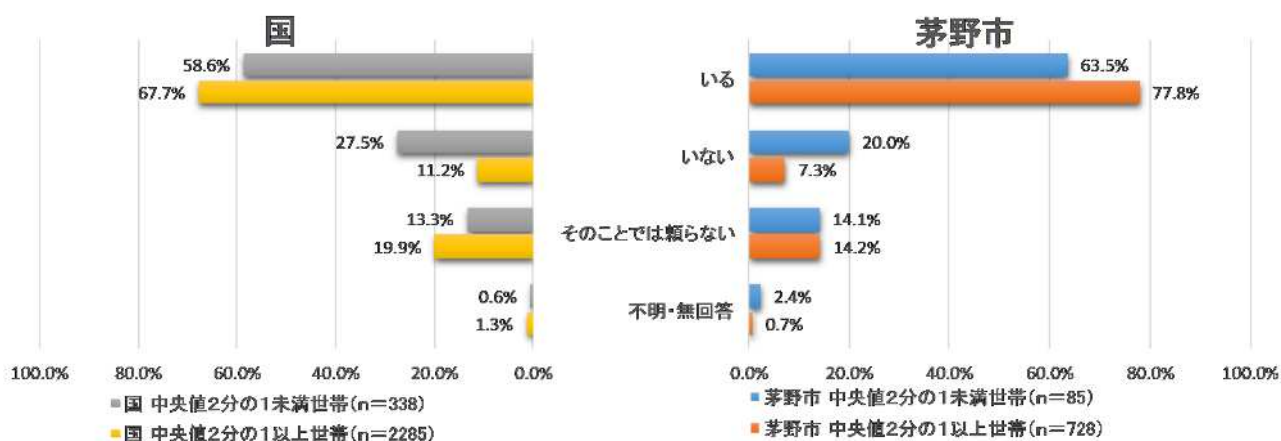
a 子育てに関する相談(単一回答)【等価世帯所得別】



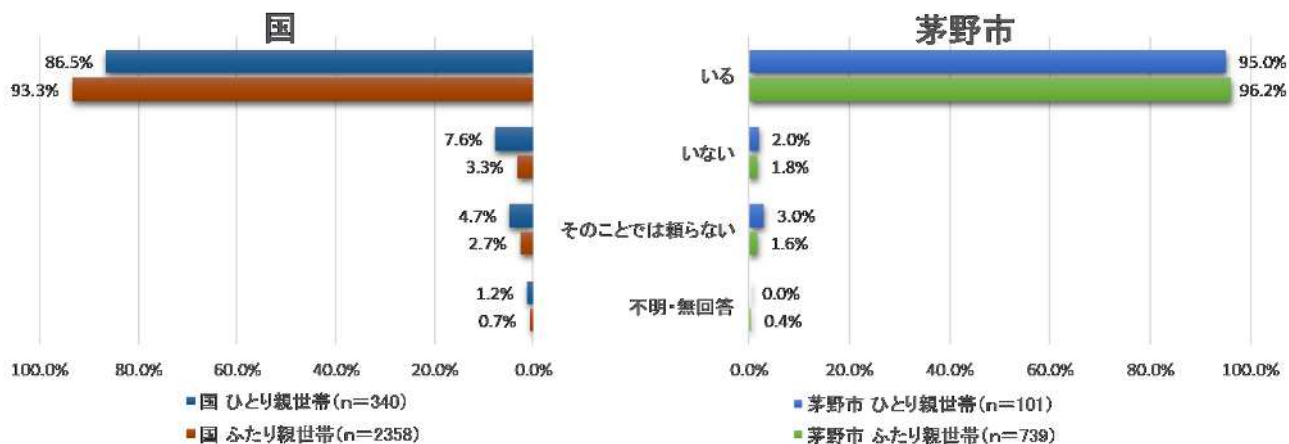
b 重要な事柄の相談(単一回答)【等価世帯所得別】



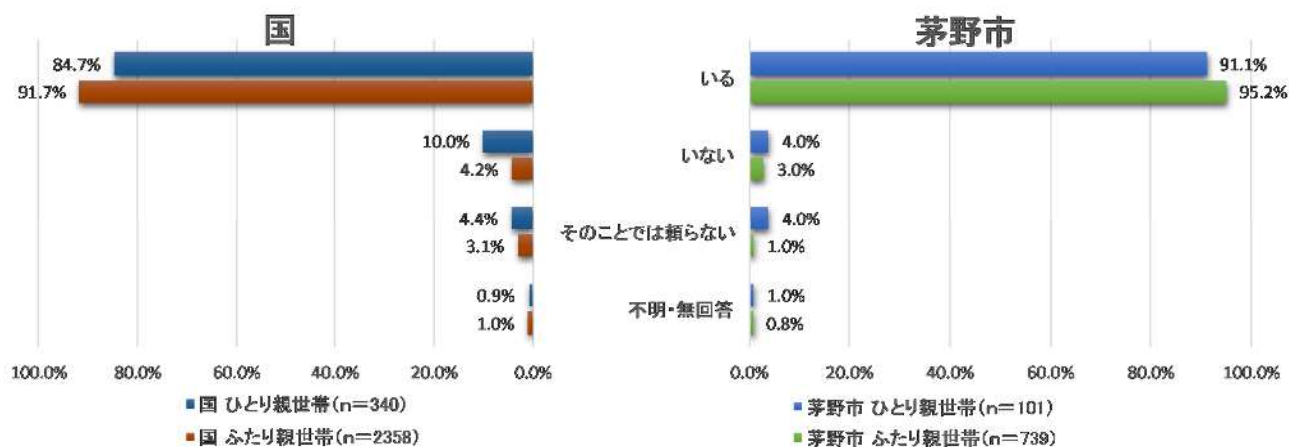
c いざという時の金の援助(単一回答)【等価世帯所得別】



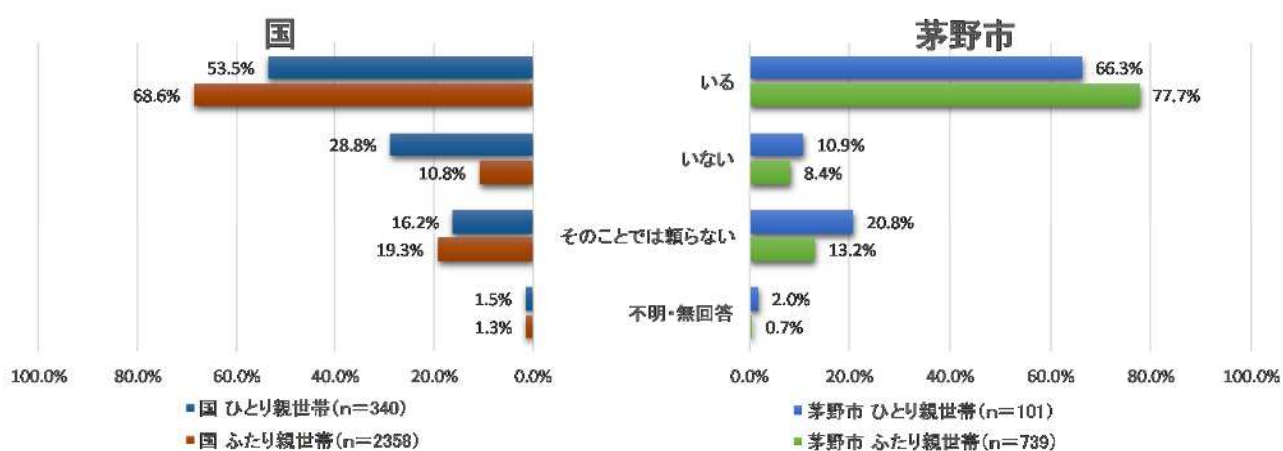
a 子育てに関する相談(単一回答)【世帯の状況別】



b 重要な事柄の相談(単一回答)【世帯の状況別】



c いざという時の金銭の援助(単一回答)【世帯の状況別】

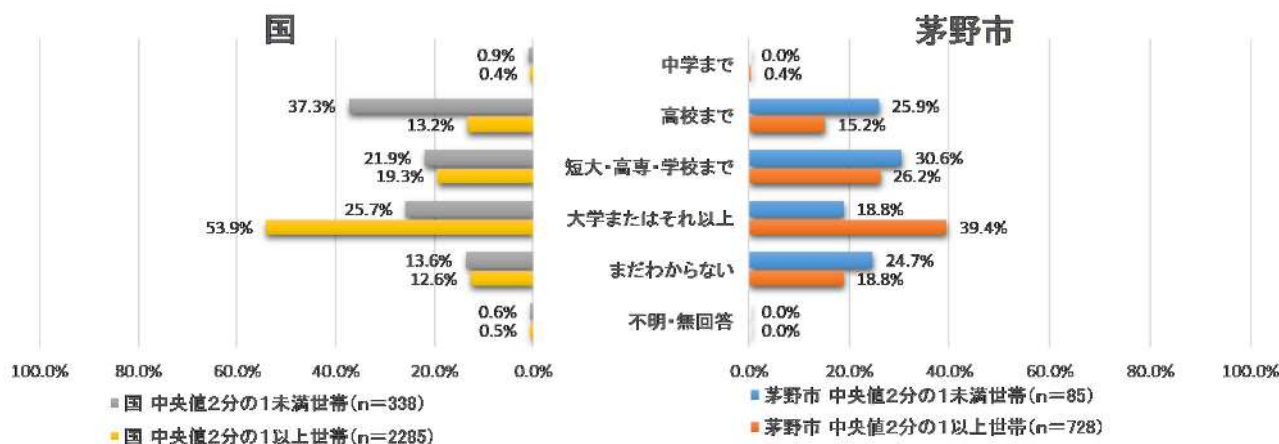


(5) 想定する子どもの進学先

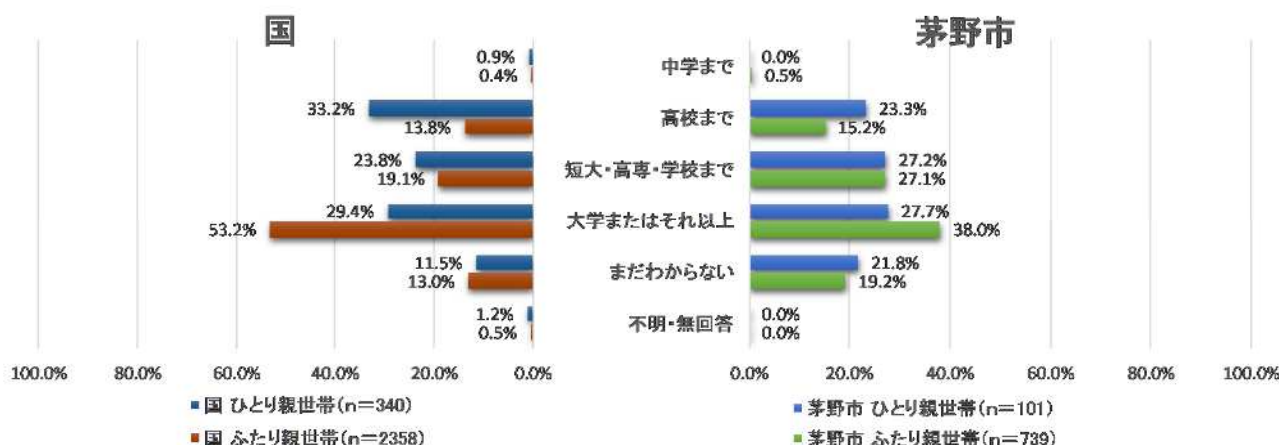
等価世帯所得別：「大学またはそれ以上」と回答した割合は、「中央値2分の1未満世帯」では、「中央値2分の1以上世帯」と比べ低い。

世帯の状況別：「大学またはそれ以上」と回答した割合は、「ひとり親世帯」では、「ふたり親世帯」と比べ低い。

①想定する子どもの進学先(単一回答)【等価世帯所得別】



②想定する子どもの進学先(単一回答)【世帯の状況別】

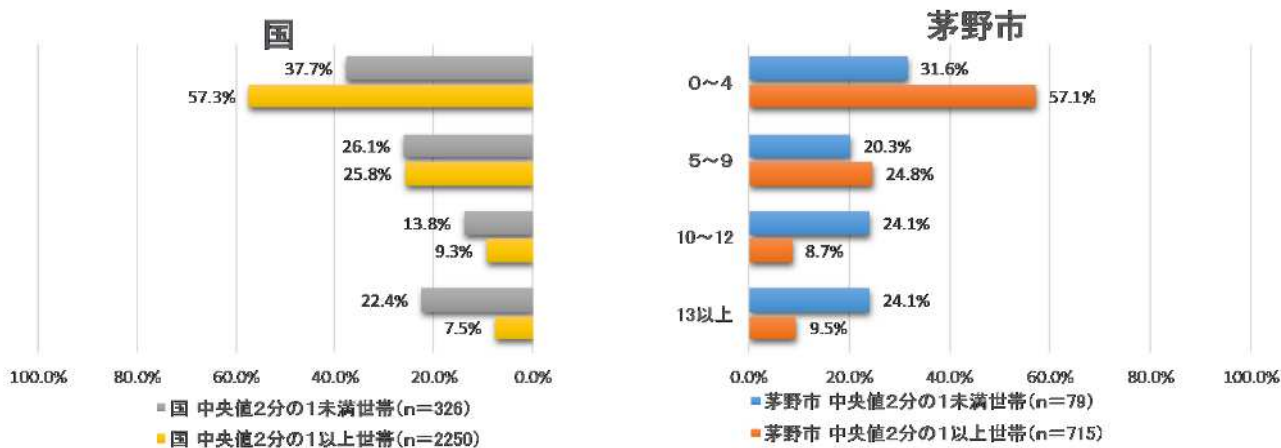


（６）心理的な状況

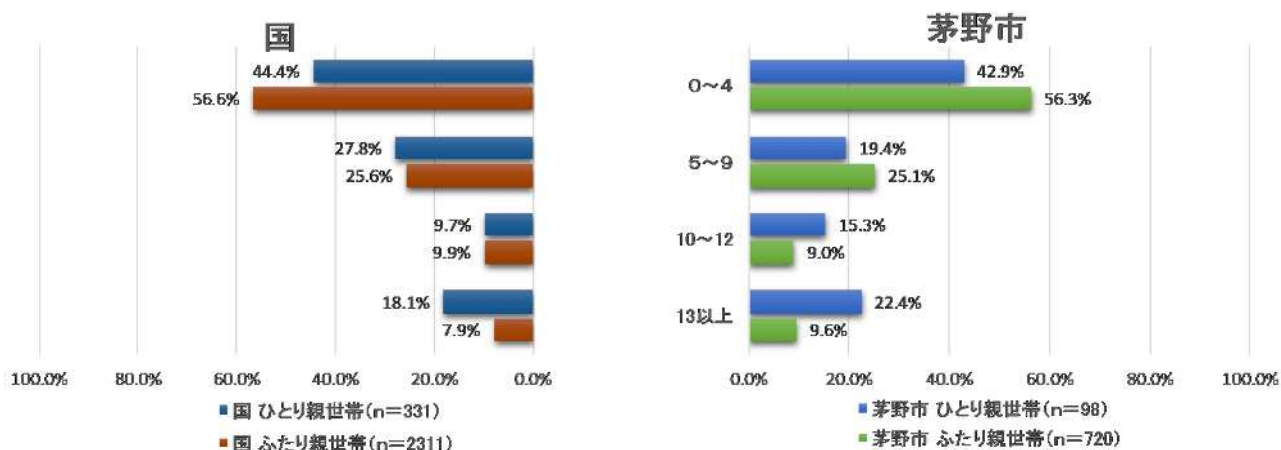
等価世帯所得別：「中央値 2 分の 1 未満世帯」では、心理的な状況として、うつ・不安障害が疑われる状況にある者の割合が高い。

世帯の状況別：「ひとり親世帯」では、心理的な状況として、うつ・不安障害が疑われる状況にある者の割合が高い。

①心理的な状況（K6 得点）【等価世帯所得別】



②心理的な状況（K6 得点）【世帯の状況別】

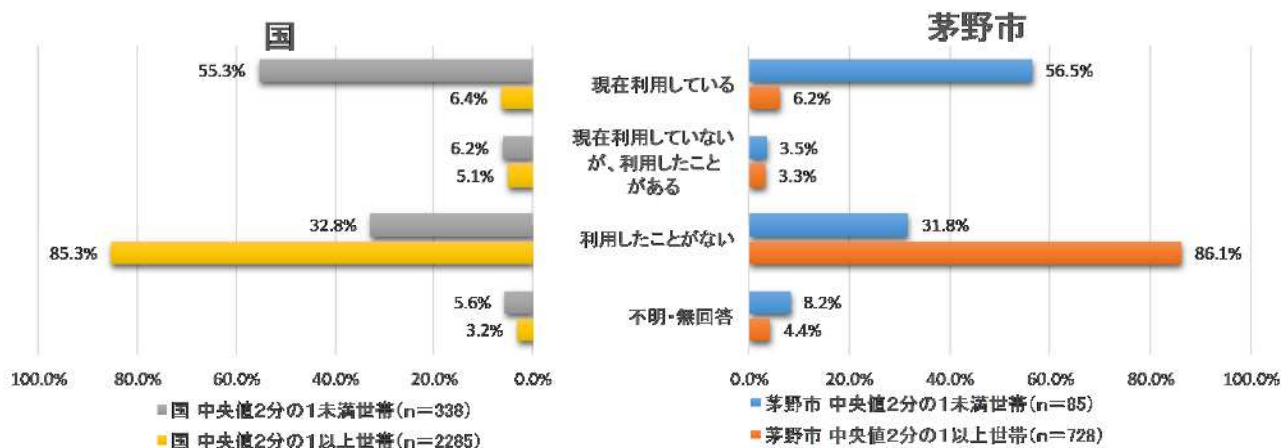


(7) 支援の利用状況

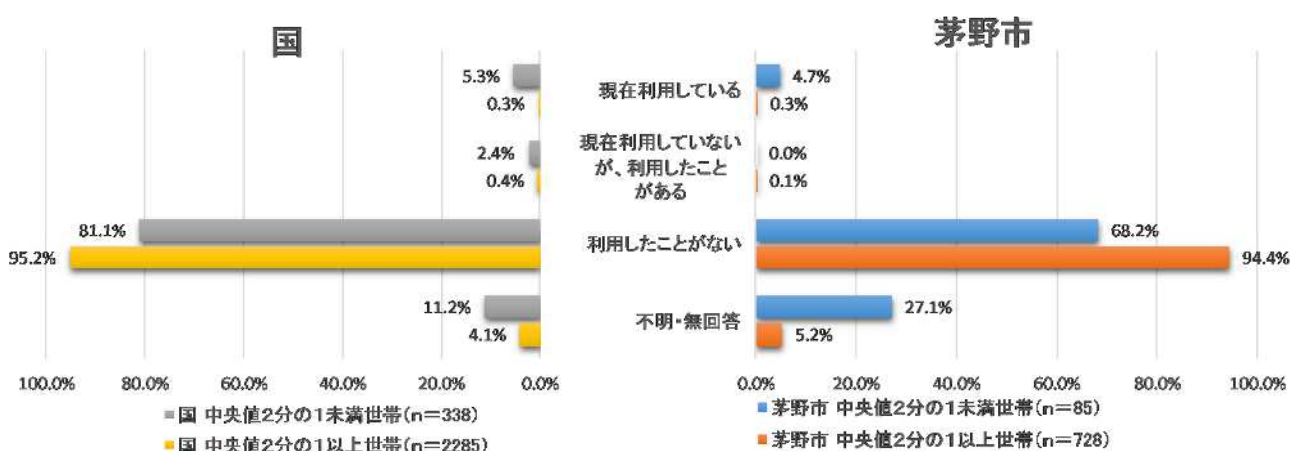
等価世帯所得別：「中央値2分の1未満世帯」では、「就学援助」や「児童扶養手当」の利用割合は5割前後である。「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」「育ちあいの」の利用割合は6%未満と低い。

世帯の状況別：「ひとり親世帯」では、「就学援助」や「児童扶養手当」の利用割合は6割前後である。「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」「育ちあいの」の利用割合は3%以下と低い。

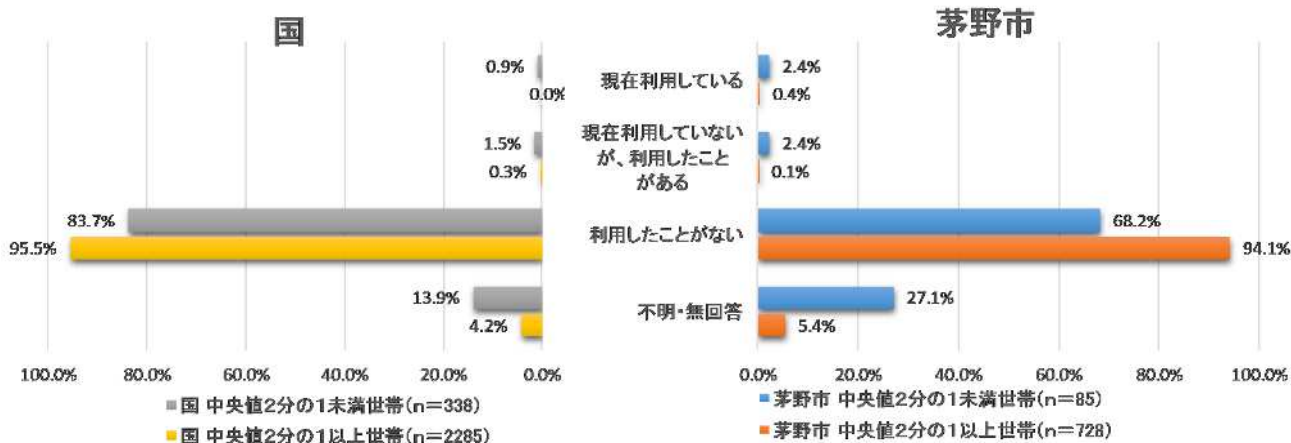
a 就学援助(単一回答)【等価世帯所得別】



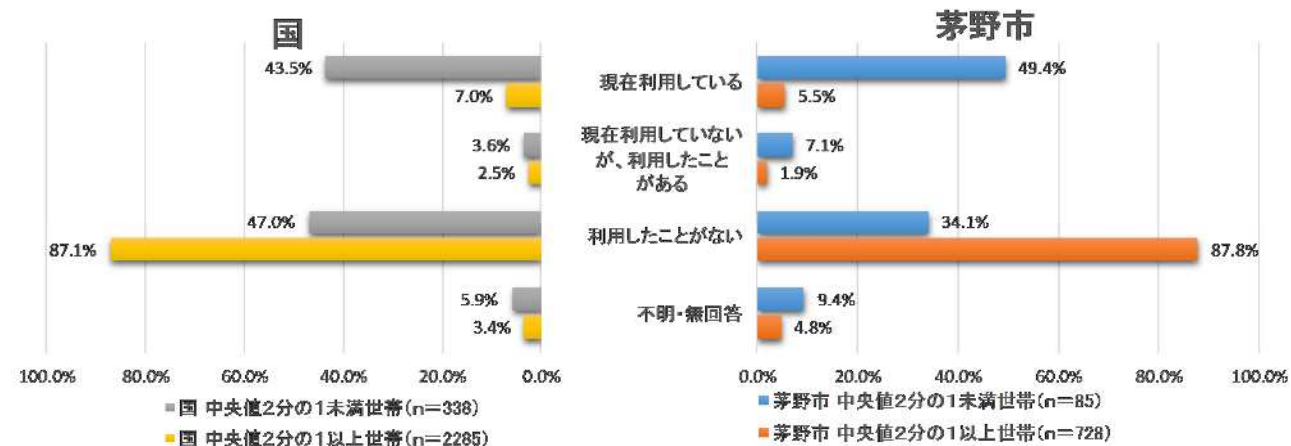
b 生活保護(単一回答)【等価世帯所得別】



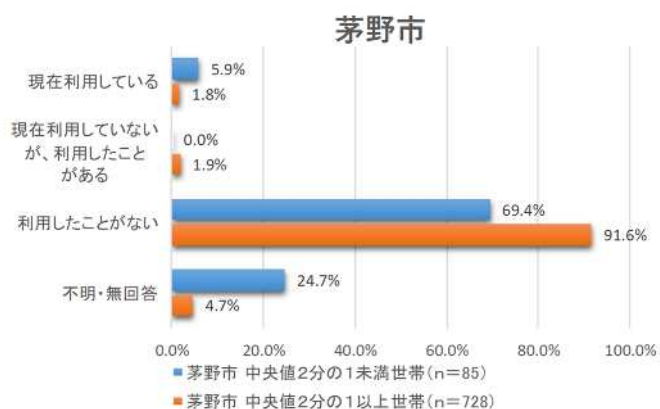
c 生活困窮者の自立支援相談窓口(単一回答)【等価世帯所得別】



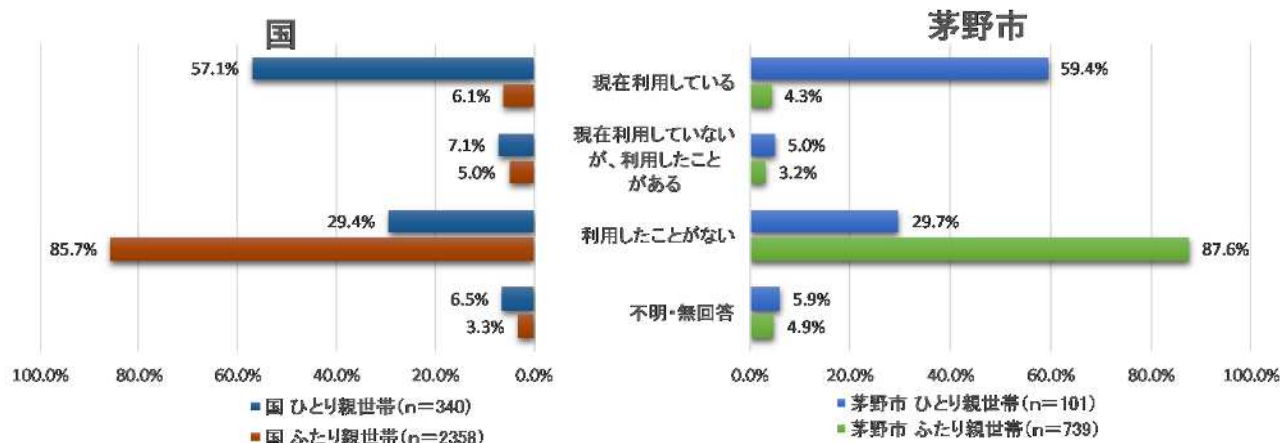
d 児童扶養手当(単一回答)【等価世帯所得別】



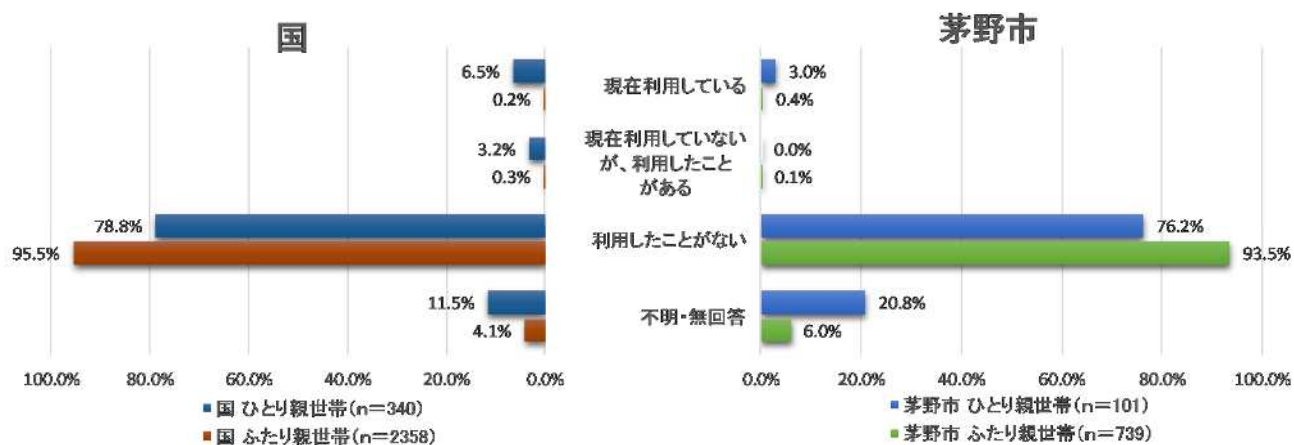
e 育ちあいの(単一回答)【等価世帯所得別】



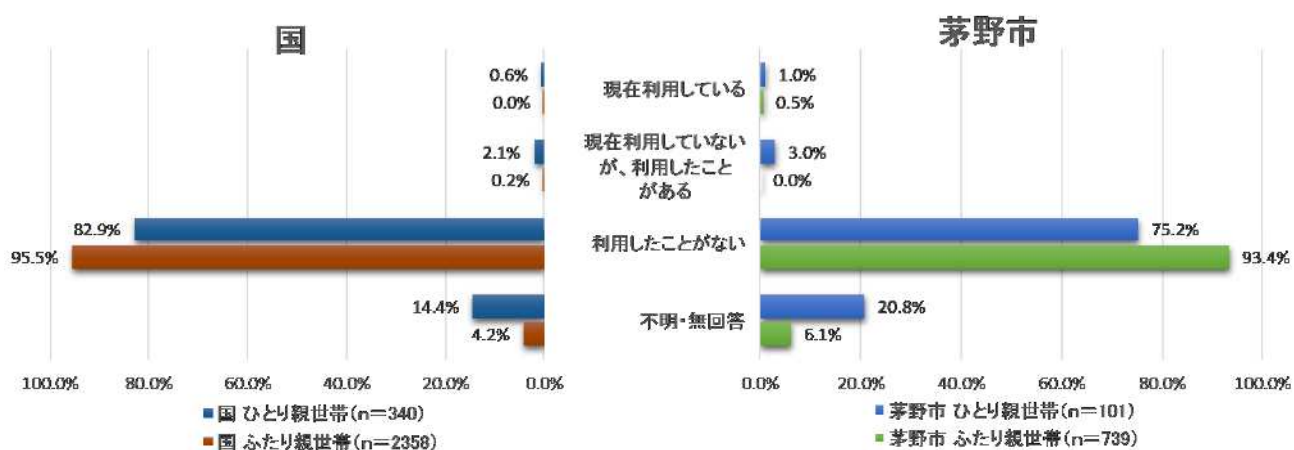
a 就学援助(単一回答)【世帯の状況別】



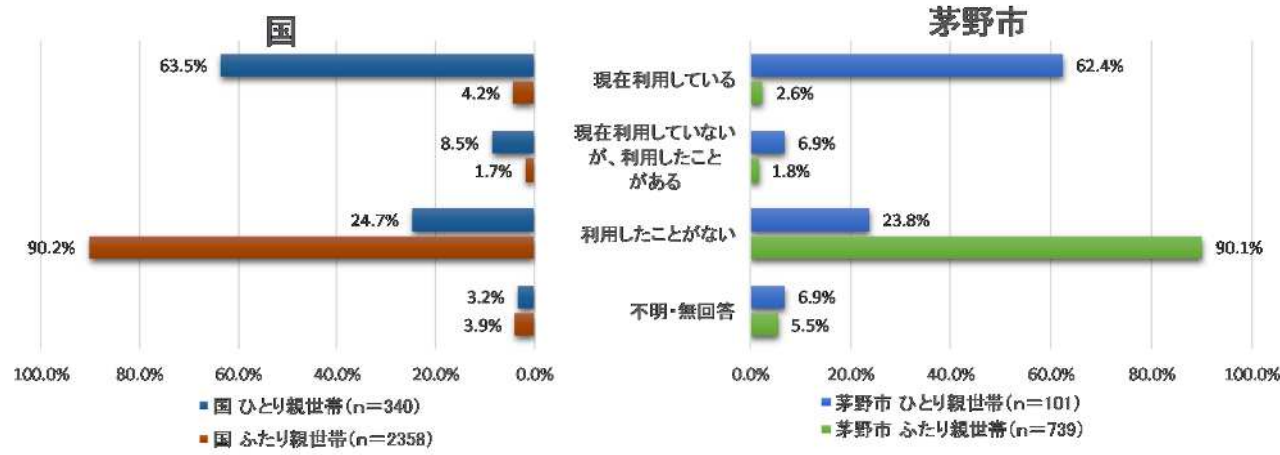
b 生活保護(単一回答)【世帯の状況別】



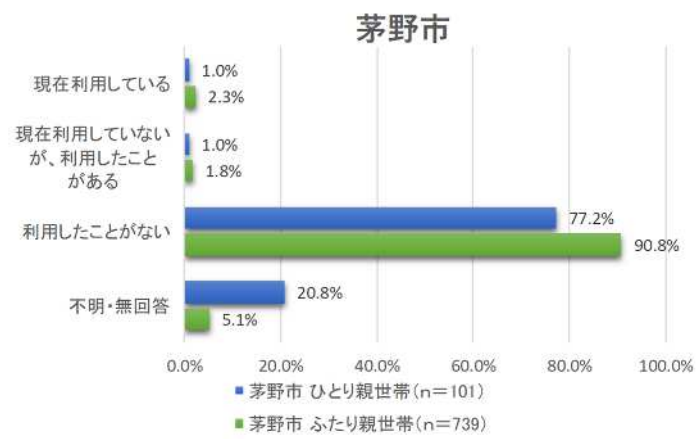
c 生活困窮者の自立支援相談窓口(単一回答)【世帯の状況別】



d 児童扶養手当(単一回答)【世帯の状況別】



e 育ちあいの(単一回答)【世帯の状況別】



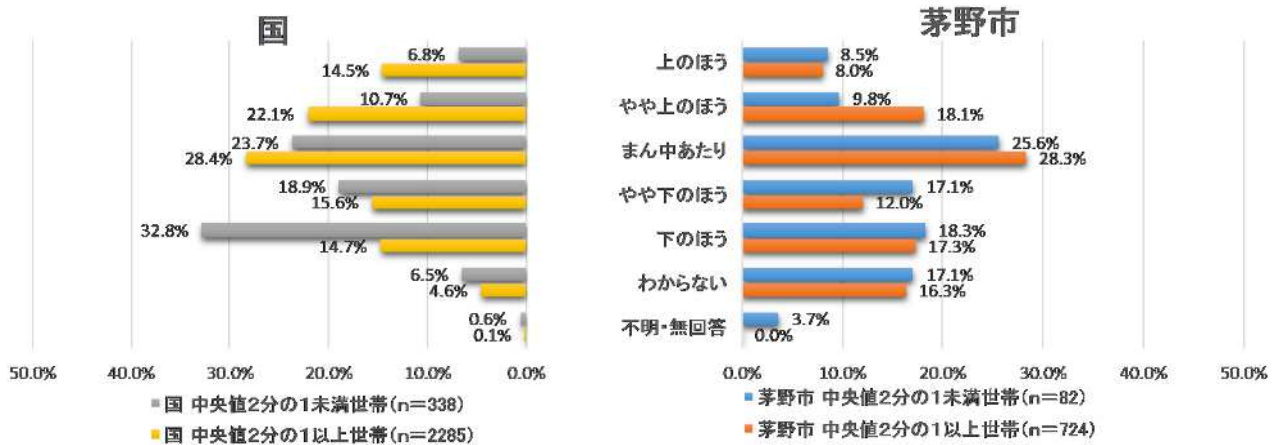
2 児童・生徒

(1) クラス内での学習成績

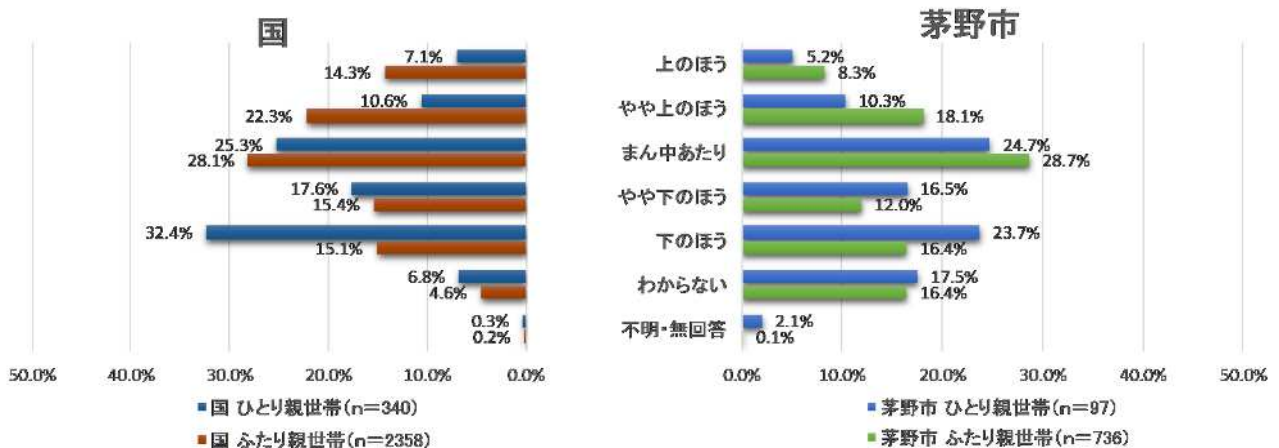
等価世帯所得別：「やや下のほう」「下のほう」と回答した割合は、「中央値2分の1未満世帯」では、「中央値2分の1以上世帯」と比べ高い。

世帯の状況別：「やや下のほう」「下のほう」と回答した割合は、「ひとり親世帯」では、「ふたり親世帯」と比べ高い。

①クラス内での学習成績(単一回答)【等価世帯所得別】



②クラス内での学習成績(単一回答)【世帯の状況別】

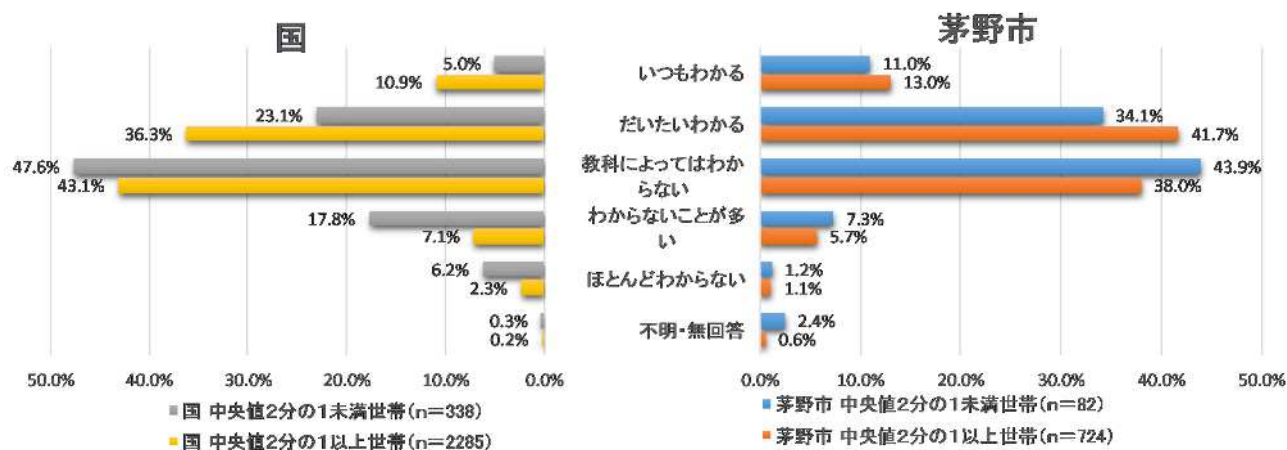


(2) 学校の授業の理解度

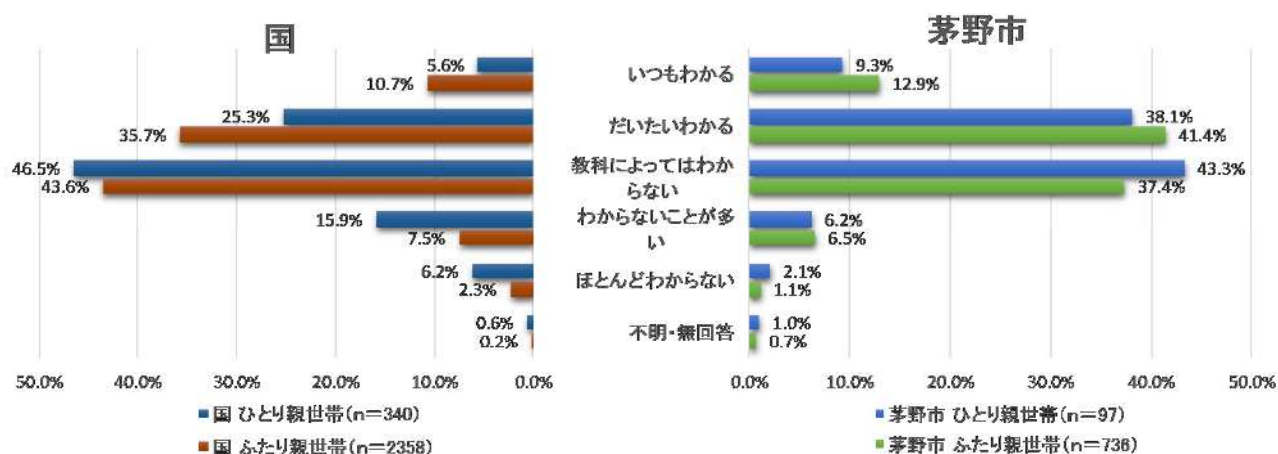
等価世帯所得別：「いつもわかる」「だいたいわかる」と回答した割合は、「中央値2分の1未満世帯」では、「中央値2分の1以上世帯」と比べ低い。

世帯の状況別：「いつもわかる」「だいたいわかる」と回答した割合は、「ひとり親世帯」では、「ふたり親世帯」と比べ低い。

①学校の授業の理解度(単一回答)【等価世帯所得別】



②学校の授業の理解度(単一回答)【世帯の状況別】

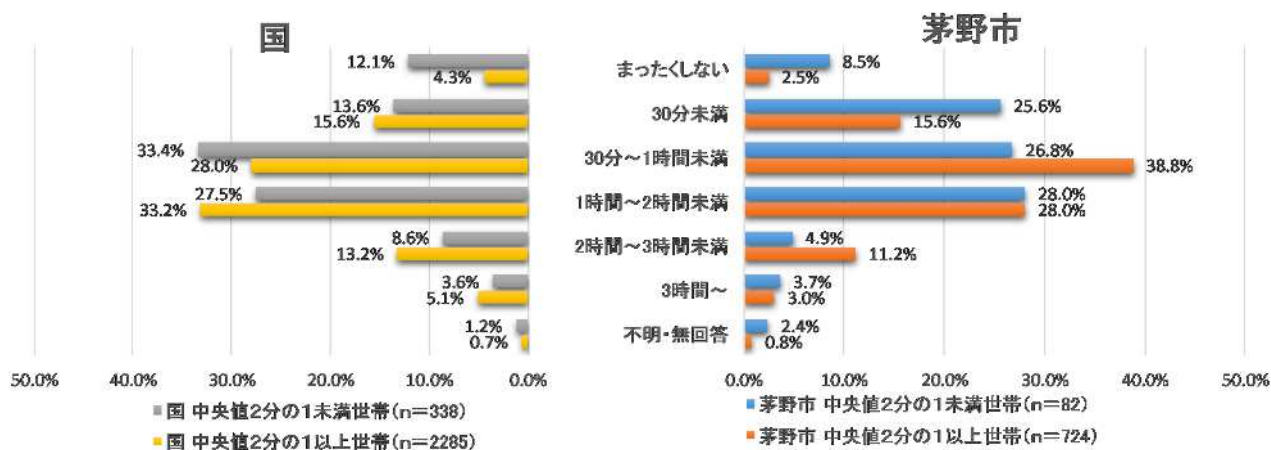


(3) 学校以外での勉強時間

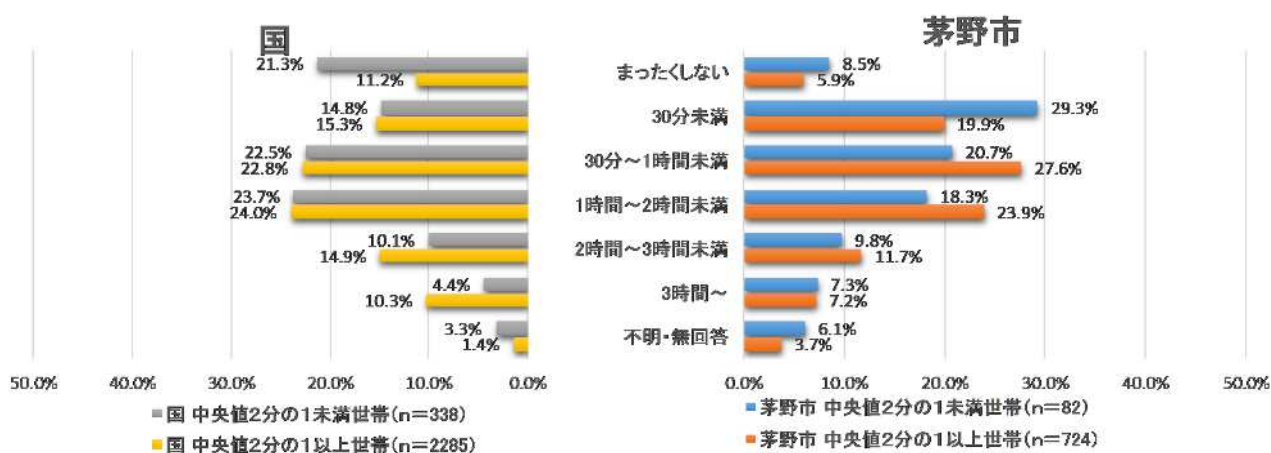
等価世帯所得別：「まったくしない」と回答した割合は、「中央値2分の1未満世帯」では、「中央値2分の1以上世帯」と比べ高い。

世帯の状況別：学校がある日で「まったくしない」と回答した割合は、「ひとり親世帯」では、「ふたり親世帯」と比べ高い。

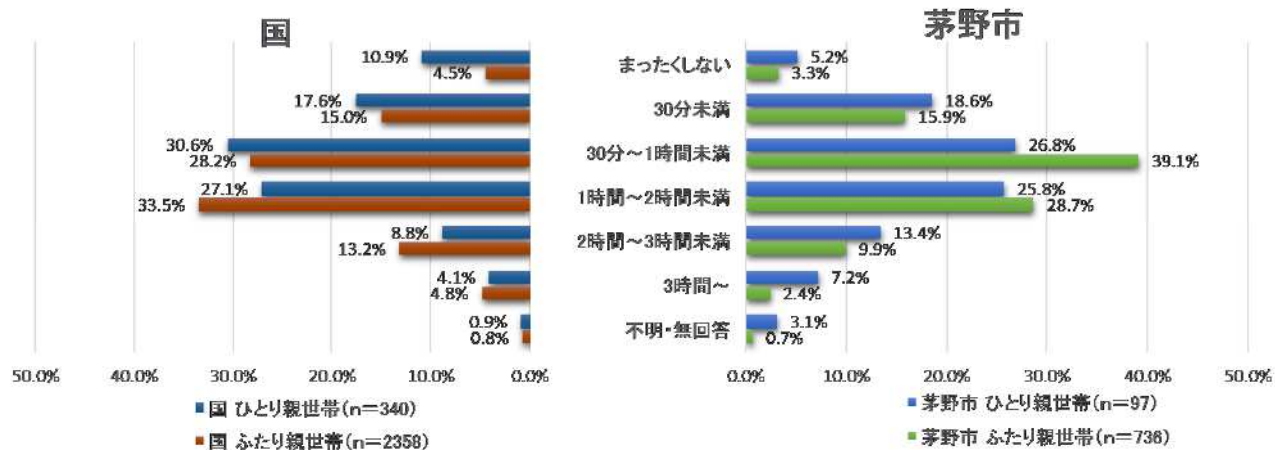
a 学校がある日(単一回答)【等価世帯所得別】



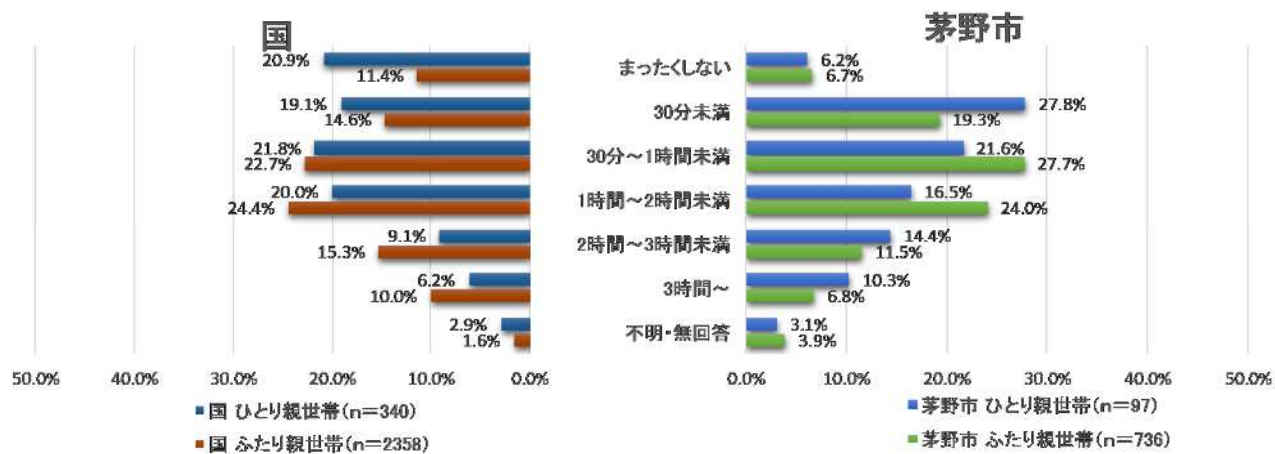
b 学校がない日(土・日曜日・祝日)(単一回答)【等価世帯所得別】



a 学校がある日(単一回答)【世帯の状況別】



b 学校がない日(土・日曜日・祝日)(単一回答)【世帯の状況別】

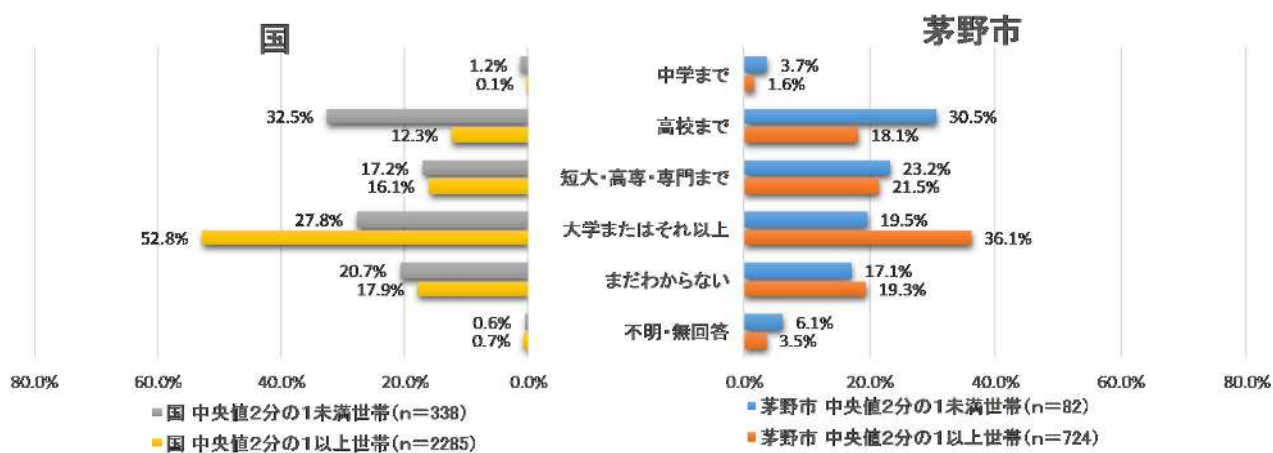


(4) 希望する進学先

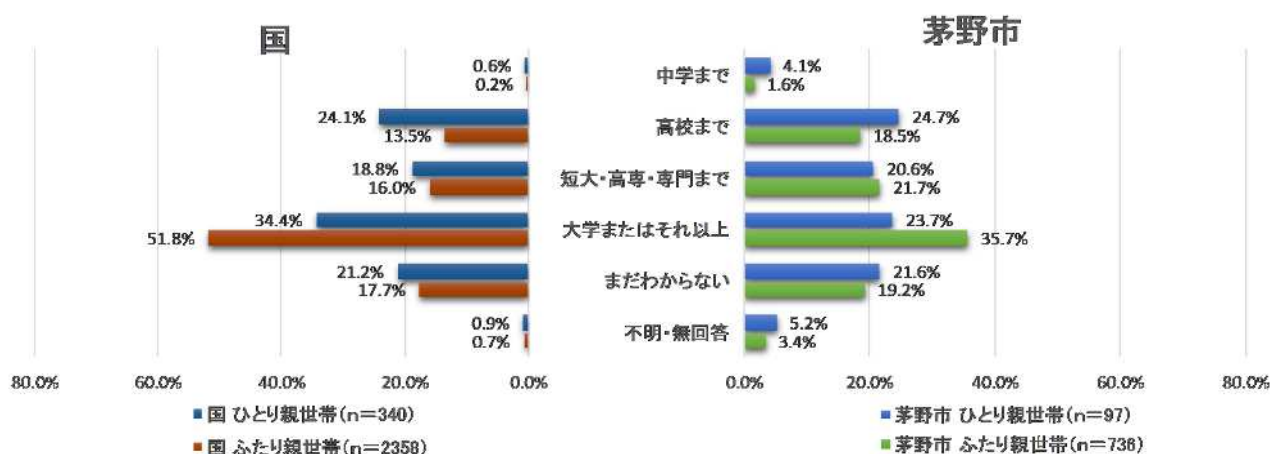
等価世帯所得別：「大学またはそれ以上」と回答した割合は、「中央値2分の1未満世帯」では、「中央値2分の1以上世帯」と比べ低い。

世帯の状況別：「大学またはそれ以上」と回答した割合は、「ひとり親世帯」では、「ふたり親世帯」と比べ低い。

①希望する進学先(単一回答)【等価世帯所得別】



②希望する進学先(単一回答)【世帯の状況別】

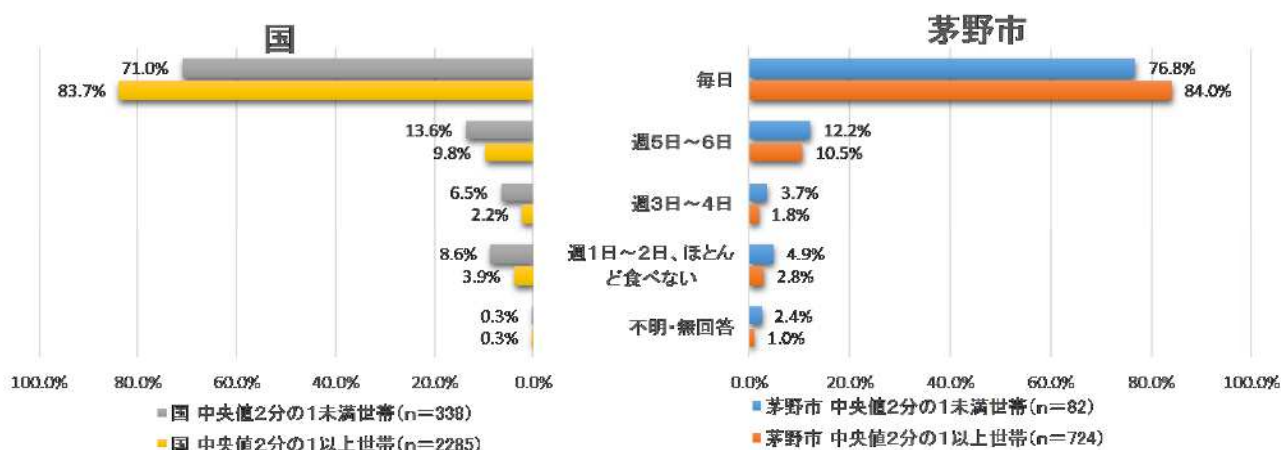


(5) 食事の頻度

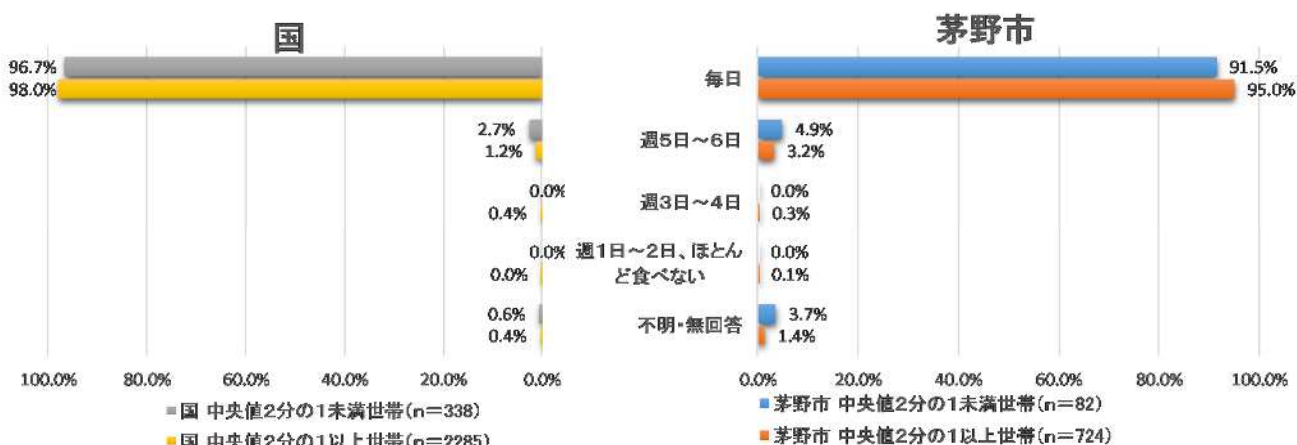
等価世帯所得別：「朝食」「夕食」「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について「毎日たべる」と回答した割合は、「中央値2分の1未満世帯」では、「中央値2分の1以上世帯」と比べ低い。

世帯の状況別：「朝食」「夕食」「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について「毎日たべる」と回答した割合は、「ひとり親世帯」では、「ふたり親世帯」と比べ低い。

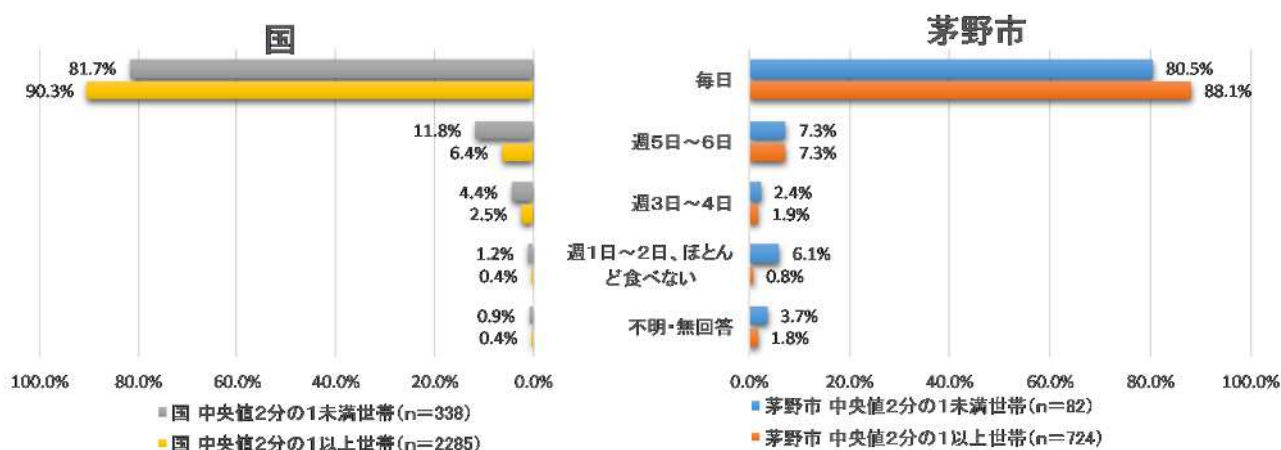
a 朝食(単一回答)【等価世帯所得別】



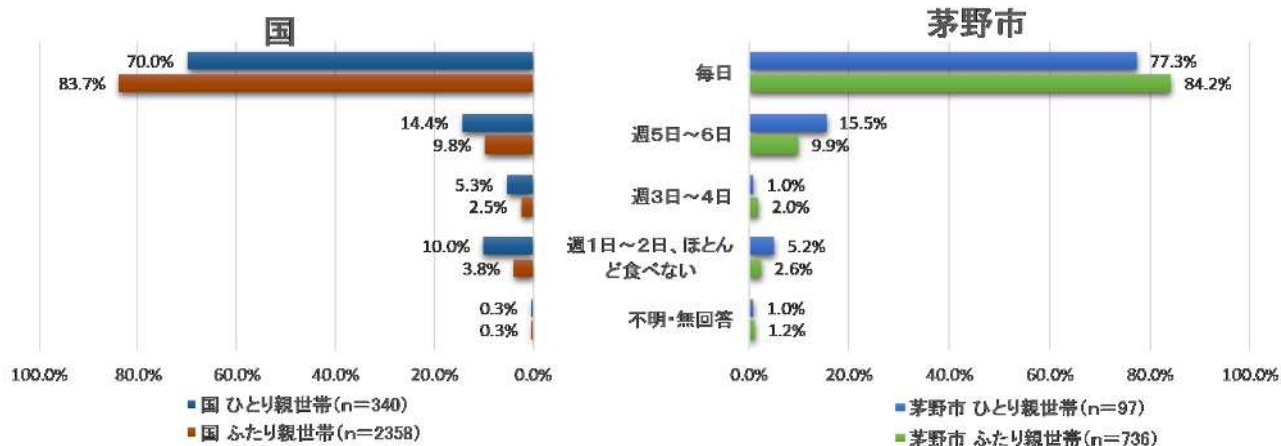
b 夕食(単一回答)【等価世帯所得別】



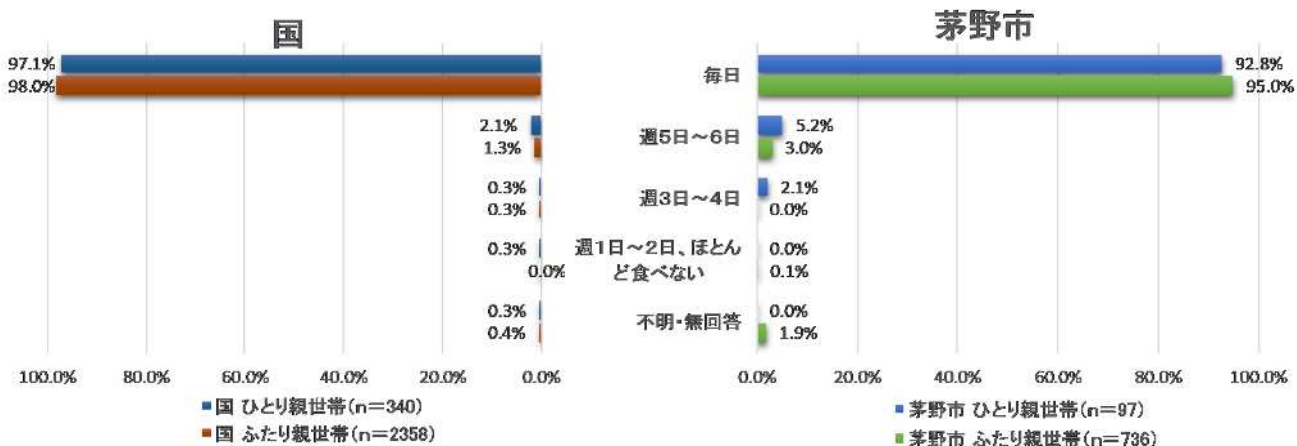
c 夏休みや冬休みなどの期間の昼食(単一回答)【等価世帯所得別】



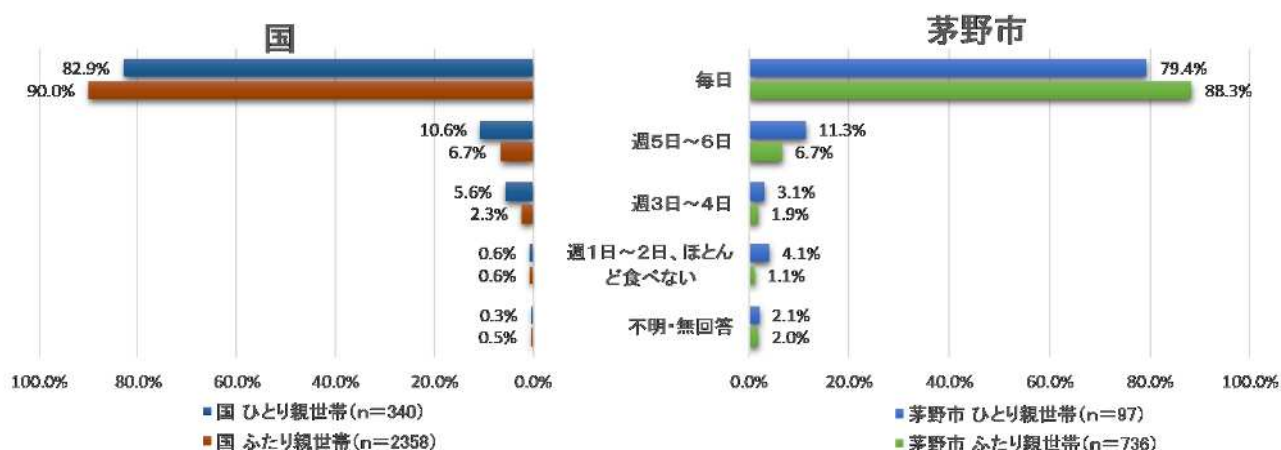
a 朝食(単一回答)【世帯の状況別】



b 夕食(単一回答)【世帯の状況別】



c 夏休みや冬休みなどの期間の昼食(単一回答)【世帯の状況別】

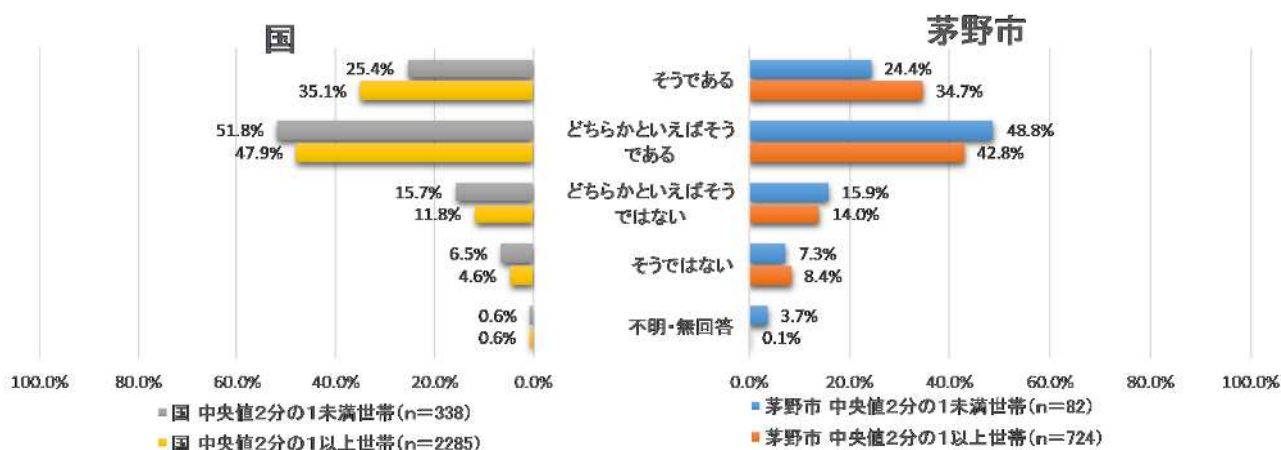


(6) 就寝時間の規則性

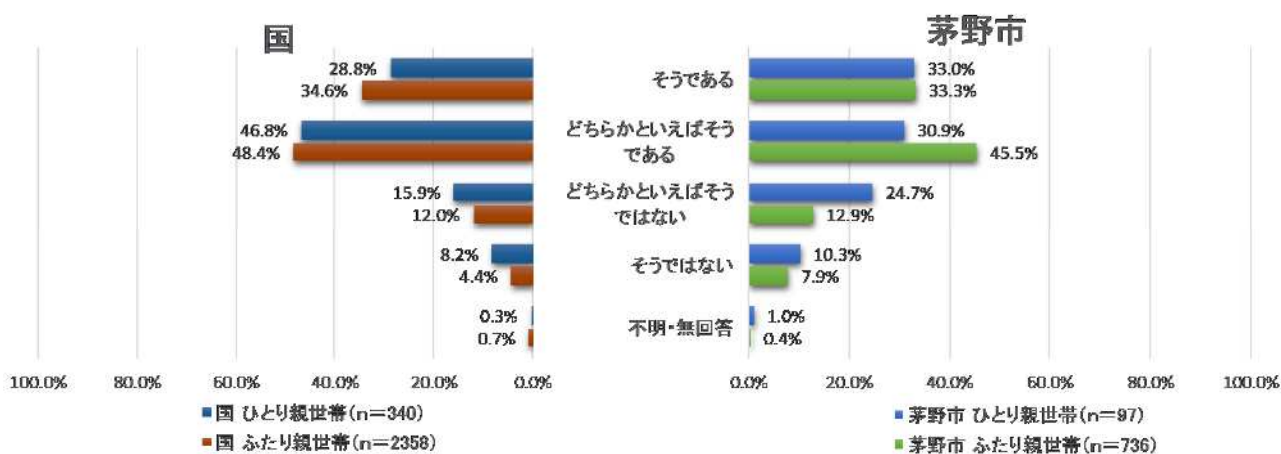
等価世帯所得別：ふだん、ほぼ同じ時間に寝ているかについて「どちらかといえばそうではない」「そうではない」と回答した割合は、「中央値2分の1未満世帯」では、「中央値2分の1以上世帯」と比べ高い。

世帯の状況別：ふだん、ほぼ同じ時間に寝ているかについて「どちらかといえばそうではない」「そうではない」と回答した割合は、「ひとり親世帯」では、「ふたり親世帯」と比べ高い。

就寝時間の規則性(単一回答)【等価世帯所得別】



就寝時間の規則性(単一回答)【世帯の状況別】

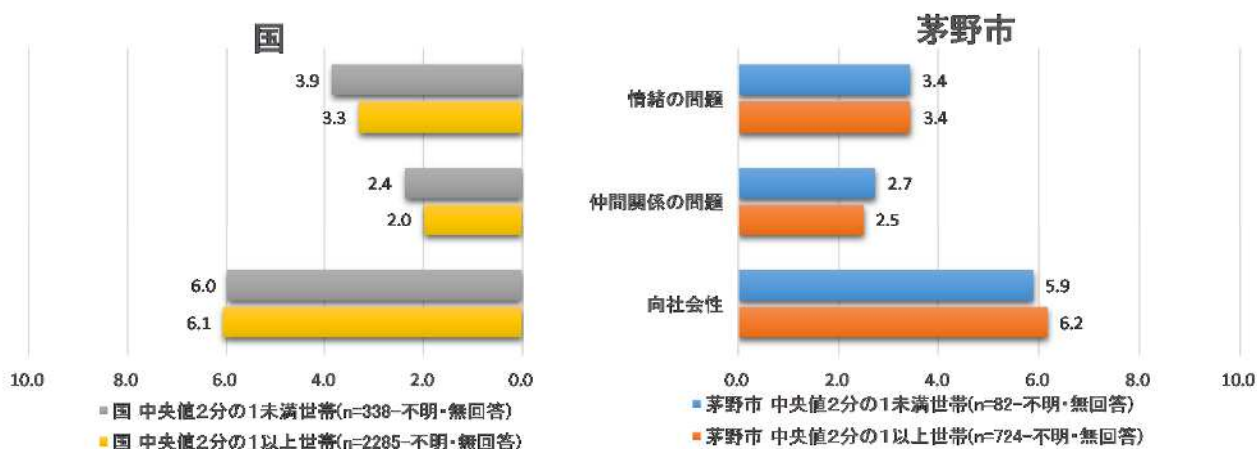


(7) 子どもの心理的な状況

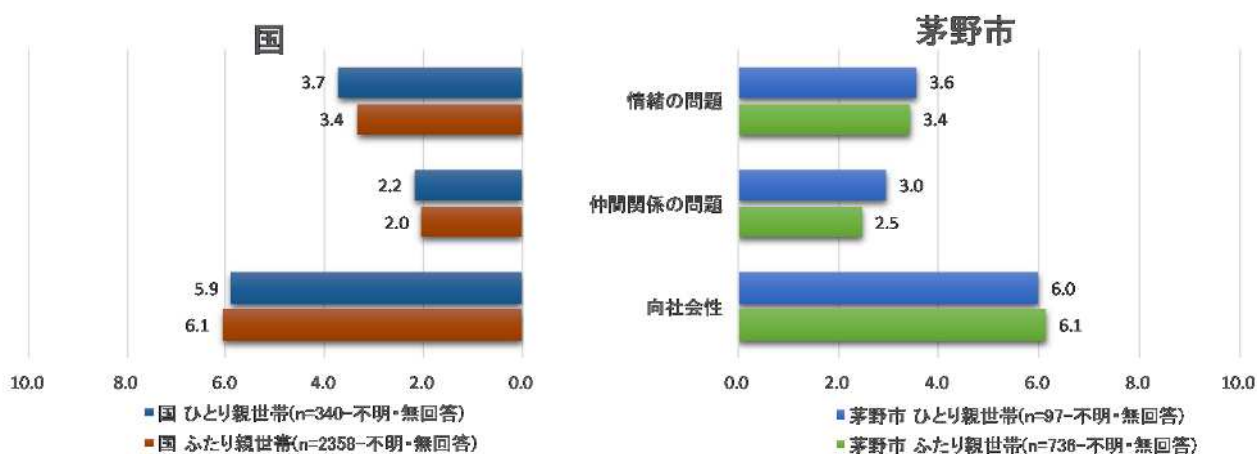
等価世帯所得別：「中央値2分の1未満世帯」では、「仲間関係の問題」のスコアが高い。

世帯の状況別：「ひとり親世帯」では、「情緒の問題」「仲間関係の問題」のスコアが高い。

①子どもの心理的な状況（スコア）【等価世帯所得別】



②子どもの心理的な状況（スコア）【世帯の状況別】



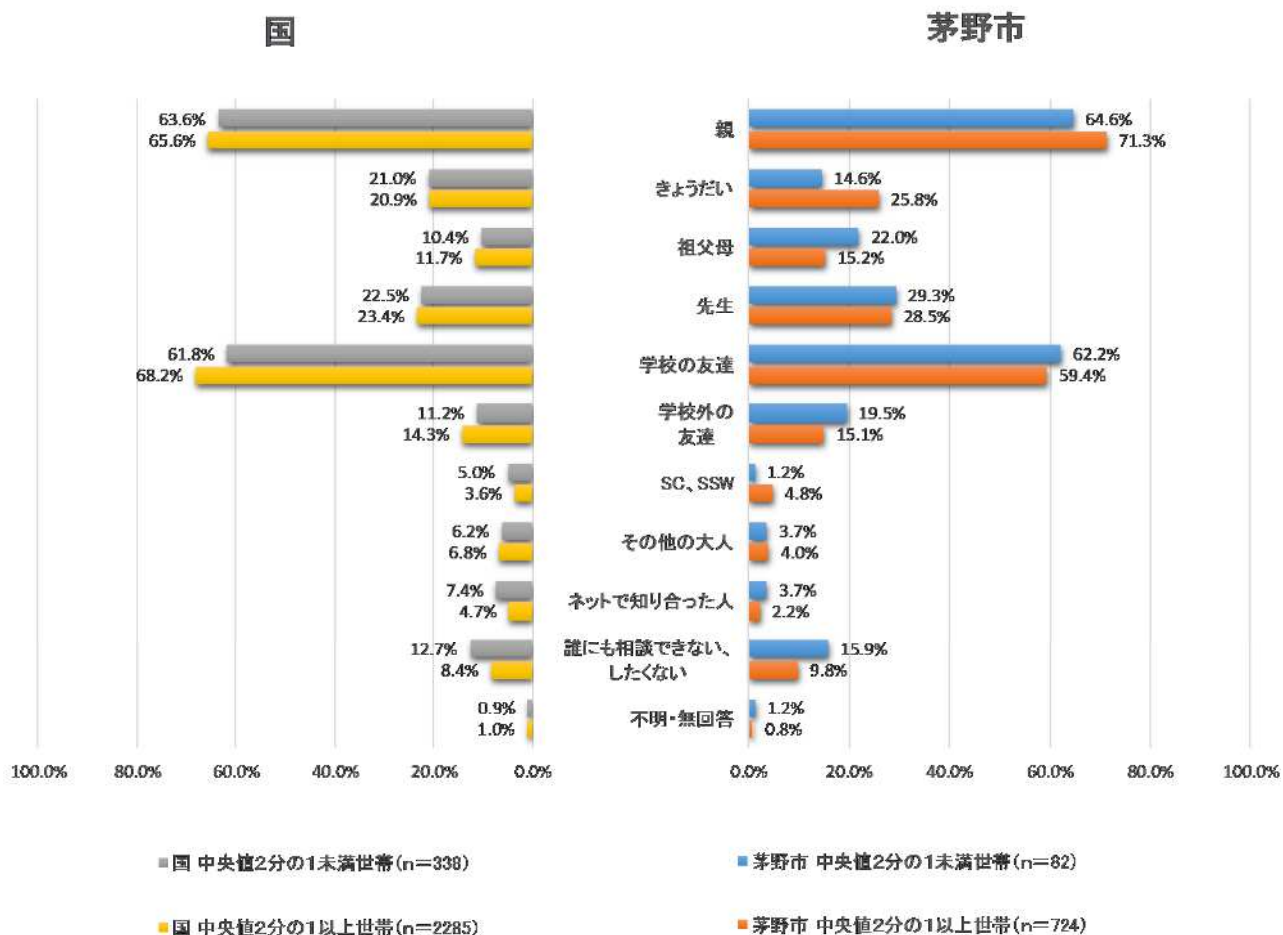
※国が公表した数値を茅野市の集計方法に合わせ再計算したため、国が公表した数値と一致しない。

(8) 相談できると思う相手

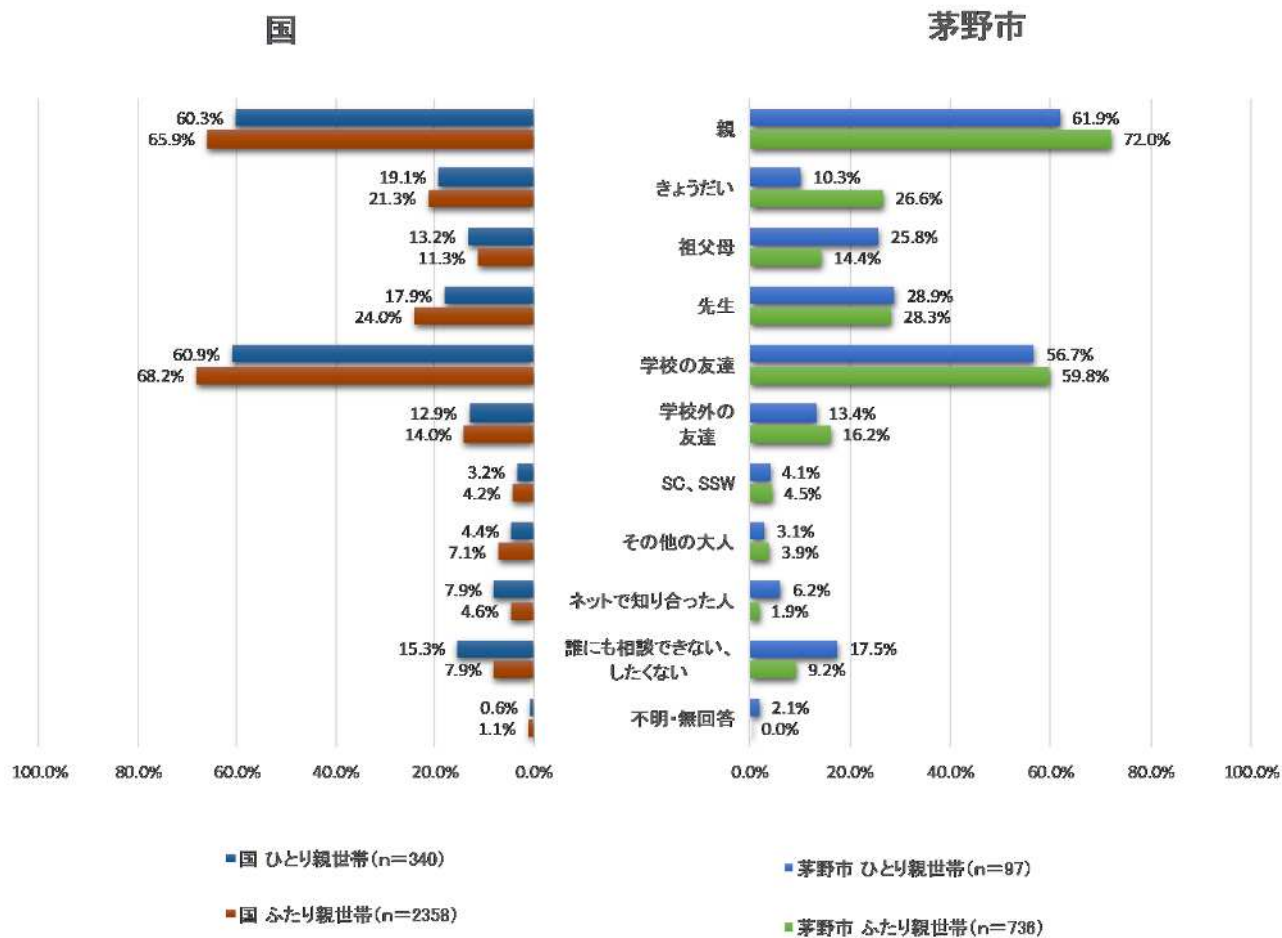
等価世帯所得別：「だれにも相談できない、したくない」と回答した割合は、「中央値2分の1未満世帯」では、「中央値2分の1以上世帯」と比べ高い。

世帯の状況別：「だれにも相談できない、したくない」と回答した割合は、「ひとり親世帯」では、「ふたり親世帯」と比べ高い。

①相談できると思う相手(複数回答)【等価世帯所得別】



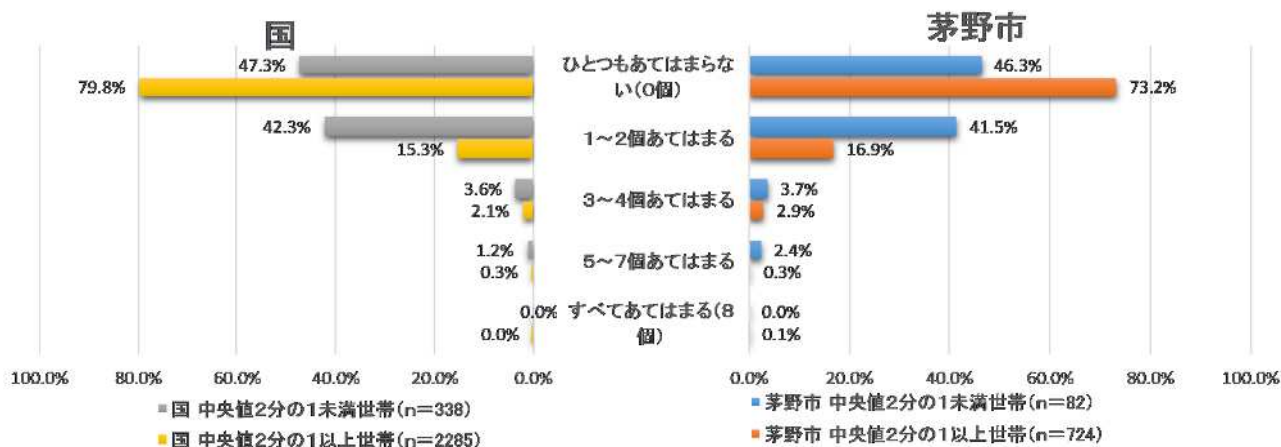
②相談できると思う相手(複数回答)【世帯の状況別】



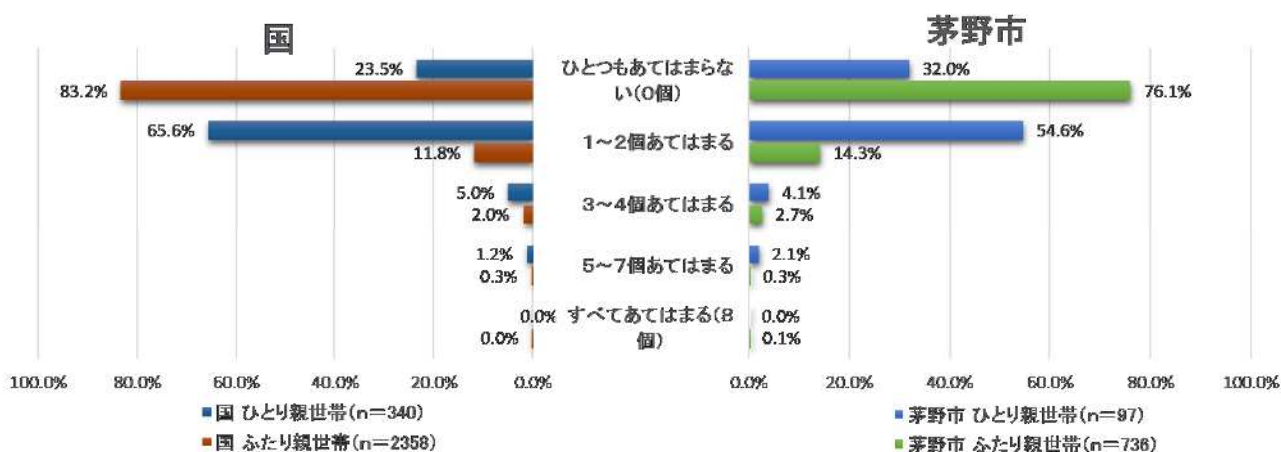
(9) 逆境体験

等価世帯所得別：「中央値2分の1未満世帯」では、「逆境体験」を経験している割合が高い。
世帯の状況別：「ひとり親世帯」では、「逆境体験」を経験している割合が高い。

① 逆境体験(単一回答)【等価世帯所得別】



② 逆境体験(単一回答)【世帯の状況別】

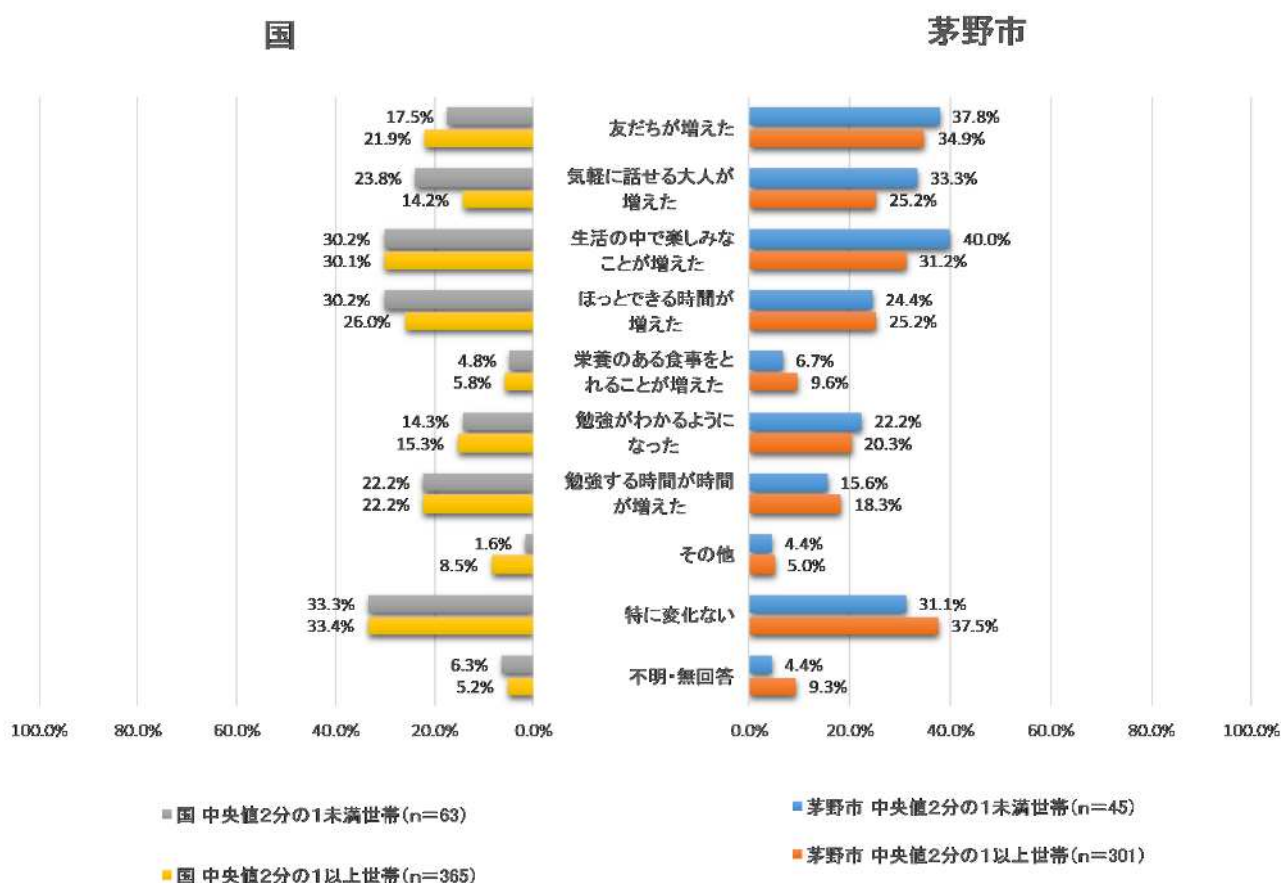


(10) 子どもが支援を利用した効果

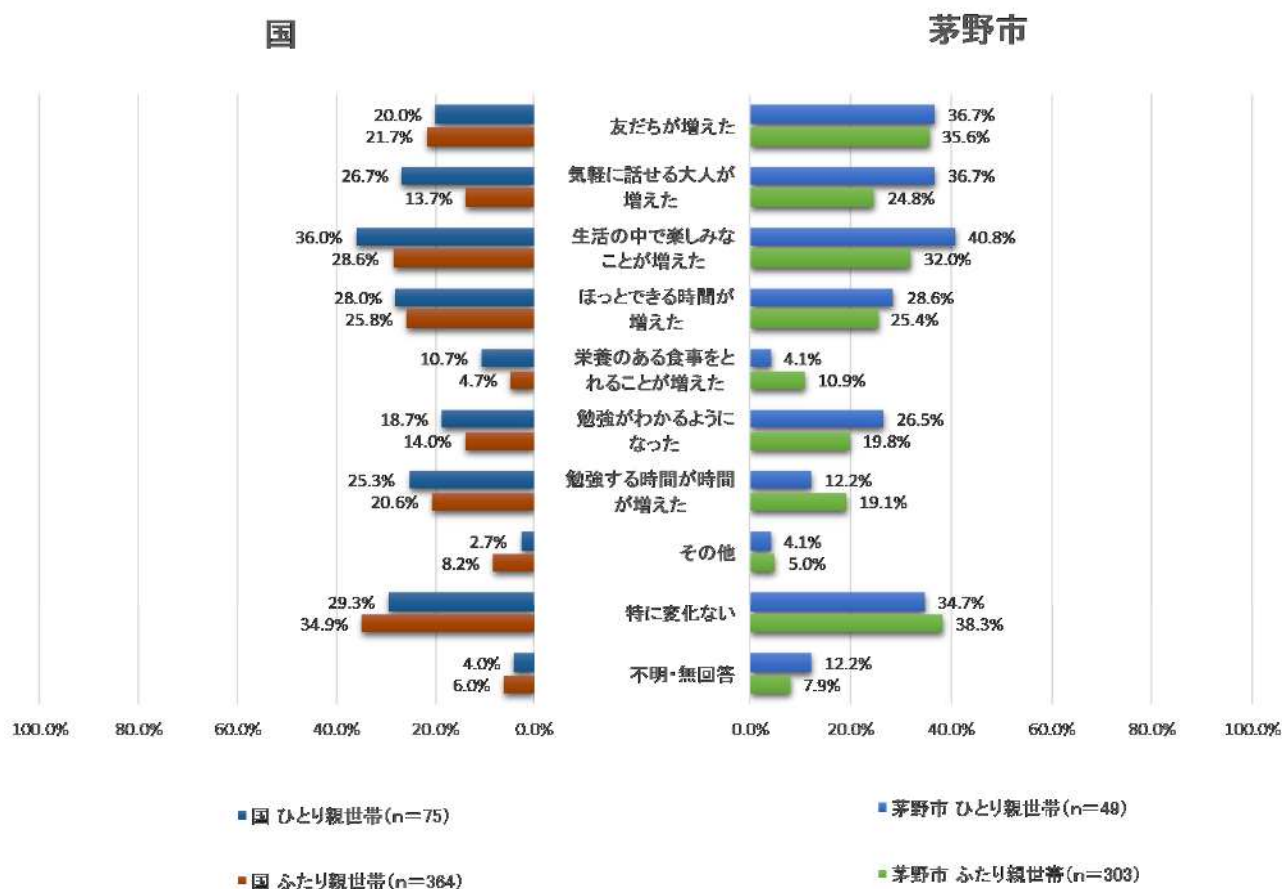
等価世帯所得別：「中央値2分の1未満世帯」では、「気軽に話せる大人が増えた」「生活の中で楽しみな事が増えた」と回答している割合が高い。

世帯の状況別：「ひとり親世帯」では、「気軽に話せる大人が増えた」「生活の中で楽しみな事が増えた」と回答している割合が高い。

①子どもが支援を利用した効果(複数回答)【等価世帯所得別】



②子どもが支援を利用した効果(複数回答)【世帯の状況別】



(11) 子どもが利用したことがある場所、あれば利用した場所 (自由記載)

a 利用したことがある場所【中2】

○公共施設等

ゆいわーく茅野、地区こども館、学校、茅野駅の所のどっこいしょ広場、チノチノ、公園や少しのグラウンド、コミュニティセンター、ひとまちプラザ

○地域・支援

子ども食堂、青少年、189 (相談ダイヤル?)

○民間

ホテル・キャンプ場、ごはんたべにいく!スパゲッティ!オギノ、趣味で行くお店、ホテル・旅館、塾

○その他

山、湖の近く、空地、ともだちの家、おばあちゃんの家、親戚・祖父母

a 利用したことがある場所【小5】

○公共施設等

学童クラブ・地区こども館、公民館

○地域・支援

子ども食堂、チャイルドライン、勉強をみってくれる所・相談できるところ

○民間

店、ホテル、コテージなど、自分が行っている水泳教室、無料塾

○その他

だれも気づかない秘密基地みたいな所、おばあちゃんの家、祖父ちゃんの家、いとこの家、姉ちゃんの家

b あれば利用したいと思う場所【中2】

○勉強

個人でしきりがついていて勉強できる所、勉強を無料でみってくれる場所、勉強を教えてくれるところ、学習スペースなど、自習のできる所、勉強を無料で見てくれる場所、下校後にみんなで勉強ができるところ

○食事

子ども食堂、こども食堂など、こども食堂、無料で食料を出してくれる食堂

○居場所

学校以外の落ち着くところ、家以外で一人でいられる場所（静かな場所）、みんなと一緒に過ごせる場所、自分の部屋とは別で安心できる（1人でも）場所やお金を気にしない場所など

○その他

野原、スポーツがたくさんできる場所、知らないところ、おばあちゃんの家、お店

b あれば利用したいと思う場所【小5】

○勉強

勉強を無料でみってくれる場所、無料で勉強できる所、勉強のできる場所、勉強をみってくれる所

○食事

ご飯を安く売ってくれるところ、子ども食堂など、夕ご飯を無料か安く食べることができる場所、無料でご飯を食べられる場所、夕ごはんを無料で食べられるところ、子ども食堂

○相談

相談のできる場所、なんでも相談できる場所、相談できる場所

○居場所

人気の少ない所、平日の夜や休日を過ごせる場所、ゆっくり休める場所、秘密基地、無料で居たい所、平日の夜や休日を過ごせる場所

○その他

習い事のコーチの家、図書館、学校の学童クラブ